

平成22年度 事業報告の附属明細書

公益財団法人新宿未来創造財団

平成23年6月

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-1		
郷土資料の調査収集		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、適切に管理すると共に積極的に活用していくことで郷土の歴史を未来に継承する。2 継続的に所蔵資料の整理・劣化の防止・適切な保管に努め、修復が必要な資料について修復を行う。3 展示や講座等の事業で活用するため、計画的に新宿に関する資料を購入し、所蔵資料の充実を図る。						
事業区分	1 主催事業	対象者					
	2 補助事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人 団体			
			応募者数	人 団体			
申込み	方法	期間	調査収集活用点数	17,649点			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業	事業費支出	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	5,688,000	4,356,108	5,689,000	2,861,656	2,827,344	50.3%
(2)	人件費(円)	-	19,010,396	20,252,000	18,729,654	1,522,346	92.5%
(3)	総事業費 (1)+(2)	5,688,000	23,366,504	25,941,000	21,591,310	4,349,690	83.2%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額 (3)-(4)	5,688,000	23,366,504	25,941,000	21,591,310	4,349,690	83.2%
(6)	調査収集活用点数	-	18,355	-	17,649	-	-
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	-	1,273	-	1,223	-	-
<p>【目的】1 新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、必要な整理と修復等の整備を行い、適切な環境下で保存していくことで、区民共有の財産である郷土資料を未来に継承していく。2 資料を展示や事業等で積極的に活用していくために、整理・修復とともに活用しやすい環境整備を行う。</p> <p>【目標・成果指標】1 収集された情報や資料に対し、計画的な分類・整理を行うとともに館蔵データベースへの追加入力を進め、適正管理と活用を進める。2 所蔵資料の修復を計画的に進め、展示・貸出・出版・ハンズオン(触れる展示)など、所蔵資料を利用した周知・活用事業を行う。</p> <p>【課題】1 新宿区の歴史・文化継承と区民へのサービス向上のため計画的な地域資料収集、資料購入の実施。2 収蔵庫の収容力が限界に来ており、資料の受け入れに影響が出ているため新たな収蔵場所の確保が必要となっている。3 資料を積極的、かつ有効な活用を進めるため、写真資料貸出有料化や学校貸出用等、体験用資料の充実を促進する。</p> <p>【今年度の結果】</p> <p><実績> 調査収集活用点数:17,649点 達成率:- %</p> <p><内訳・内容></p> <p>1 調査収集活動 (1)調査 資料調査(鏝絵、古民家、古文書、民具等寄贈受入のための下見・調査等)20件。(2)寄贈受入(区からの依頼) 資料選定委員会(3回 9月、12月、3月)の決定を受け、16件236点受入。</p> <p>2 収蔵資料の整理 (1)保存管理(区からの依頼) 重要寄贈資料等11,569点を保管。区文化観光国際課と共に、資料点検2回実施(9月14・15日、平成23年3月15・16日)。収蔵庫内の環境変化を防ぐため、空調設備改修工事中(10月～12月)の重要資料・特別収蔵庫の立ち入りを禁止。(2)整理 寄贈・購入図書を検索システムへの入力:762点(累計約28,230点)。(3)修復 地図:5点(所蔵資料展「新宿風景 Part1(戦前編)」で展示)。林芙美子資料:9点。閲覧用図書:14点。</p> <p>3 資料の活用 (1)地域派遣事業(旧ふれあいトーク宅急便) 計5回、参加者121人(21年度:8回142人)。(2)当館資料や新宿に関するレファレンス 1日平均12件×282日=3,384件(21年度:3,619件)。(3)写真貸出対応(区からの依頼)134件1,428点(21年度:146件838点)。(4)資料貸出対応(区からの依頼) 4件67点(21年度:7件131点)。施設改修中の貸出は、資料保全のため休止。</p> <p>4 調査・普及活動への協力 (1)区総務課『平和マップ』作成協力。(2)区文化観光国際課 近現代資料検討会議・文化芸術振興基本条例検討会議への参加。(3)写真展開催協力(新宿駅等4件):28点。(4)学芸員実習受入(9月17日～10月2日 10日間:3人)。(5)インターンシップ受入(跡見学園大学、9月10日間:3人)。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>1 データベース以外の収蔵品リストの整理・統合。</p> <p>2 写真資料の貸出有料化に向けた資料の焼き直しなどの整理・貸出専用ファイルの整備。</p> <p>3 今後の資料受入に対応するための収蔵場所の確保。</p> <p>4 資料の適切な管理・活用方針の立案。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	821,000			821,000	720,400	100,600	87.7%
消耗品費	657,000			657,000	456,358	200,642	69.5%
使用料及び賃借料	588,000			588,000	277,899	310,101	47.3%
諸謝金	48,000			48,000	0	48,000	0.0%
委託費	3,575,000			3,575,000	1,406,999	2,168,001	39.4%
人件費	20,252,000			20,252,000	18,729,654	1,522,346	92.5%
事業費合計(円)	25,941,000			25,941,000	21,591,310	4,349,690	83.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 収集資料を適切な環境下で保管する。所蔵資料の活用事業については、所蔵資料展において達成した。これ以外においては、必要な調査研究活動を実施していく。 2 所蔵資料及び閲覧用図書の修復は年間計画を立て、計画的に修復している。修復が済んだ資料については、所蔵資料展で展示し、閲覧図書も順次、閲覧に供するなど、効果的な修復を行なっている。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-2		
写真・映像等資料の整理・活用事業		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 貴重な映像等資料をデジタル化することで劣化を防止するとともに、保存環境を整え、今後の博物館事業の積極的な活用を行う。2 映像フィルムのデジタル化に続き音声テープのデジタル化をすすめ、区の歴史・文化に関係する貴重な資料の保存環境を整備する。3 写真資料のデジタル化・整理により、展示会や事業等で活用する。また、写真資料の有料での貸出を行う。4 デジタル化された映像・音声資料について、展示会等で活用し博物館事業の充実に努める。						
事業区分	1主催事業	対象者					
	1自主事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人 団体			
			応募者数	人 団体			
申込み	方法	期間	整理活用 点数 延べ	2,358点			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的会計	事業費支出	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,275,000	1,051,870	2,768,000	1,327,740	1,440,260	48.0%
(2)	人件費(円)	-	35,770	38,000	34,100	3,900	89.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,275,000	1,087,640	2,806,000	1,361,840	1,444,160	48.5%
(4)	事業収益(円)	0	0	500,000	0	500,000	0.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,275,000	1,087,640	2,306,000	1,361,840	944,160	59.1%
(6)	整理活用点数	2,500	2,878	2,000	2,358	358	117.9%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	510	378	1,153	578	575	50.1%
【目的】博物館所蔵の写真・映像資料等をデジタル化することにより、劣化を防止するとともに保存・管理体制を整え、博物館事業に活用できる環境整備を行う。							
【目標・成果指標】1 貴重な写真・映像資料等をデジタル化し、博物館事業等で積極的に公開し、オリジナリティーのある魅力的な博物館づくりに役立てる。2 過去の貴重な聞き取り等の音声資料についてテープ起こしを行い、活字による資料化を進める。3 写真の整理・デジタル化等により有料化することで収益事業に結び付ける。年間500件を目標。							
【課題】1 区および区民等からの写真・映像資料受入れについてのルールづくりが必要である。2 地域との連携事業等、他の博物館事業での写真・映像・音声資料の使用を積極的に行うこと、また使用しやすい環境整備が急務となっている。							
【今年度の結果】							
<実績> 整理活用点数:2,358点 達成率: -							
<内訳・内容>							
1 音声資料							
(1)22年度実施した音声資料(カセットテープ336本、オープンリール50本)のデジタル化資料の文字情報化を進める。優先順位の高い、聞き取り調査資料19点の文字情報化、総計40点。							
2 写真・フィルム							
(1)貸出等に利用するための館所蔵写真のコピー作業1,968点							
(2)地域との連携事業で、5地区6回の写真展を開催(榎2回・若松・戸塚・四谷・笹笠地区)。詳細は地域との連携事業に記載。							
(3)所蔵写真の提供・活用:所蔵資料展「新宿風景Part1」90点、「新宿風景Part2」60点							
(4)館蔵写真パネルの整理:過去の展示等で使用した写真パネル約200点を地区別に整理し、地域写真展等で活用。							
3 映像テープ							
(1)8mmテープのデジタル化準備							
(2)所蔵資料展や特別展等、展示会の内容に合わせた映像放映で活用、5点。							
4 地域文化の映像保存撮影							
新宿の歴史・文化・街並みなどの現状を映像に記録・保存。区内10か所。							
【今後の課題】							
1 写真資料の有料貸出制度について、新宿区と調整しできるかぎり早期に実現させる。							
2 地域文化の映像保存では、今後どのようなものを保存していきたいのかを整理し、計画的に撮影する。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	244,000			244,000	0	244,000	0.0%
消耗品費	63,000			63,000	6,140	56,860	9.7%
委託費	861,000	1,600,000		2,461,000	1,321,600	1,139,400	53.7%
人件費	38,000			38,000	34,100	3,900	89.7%
事業費合計(円)	1,206,000	1,600,000		2,806,000	1,361,840	1,444,160	48.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入	500,000			500,000	0	500,000	0.0%
合計(円)	500,000			500,000	0	500,000	0.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 地域文化の映像保存撮影を新規に始めることにより、地域の記録を博物館独自で記録・継承していくことができるようになった。 2 昨年度までにデジタル化した映像資料や音声資料を展示会や講座等で活用する流れができてきている。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-3		
ユビキタスネットワークシステムの推進		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	新宿歴史博物館が持つ資料や新宿区内にある地域資源について、ユビキタスネットワークの整備を図る。						
事業区分	1主催事業	対象者					
	1自主事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	人 団体		
申込み	方法	期間		応募者数	人 団体		
				延べアクセス数	件		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,638,000	1,638,000	3,676,000	1,638,000	2,038,000	44.6%
(2)	人件費(円)	-	-	2,628,000	2,491,170	136,830	94.8%
(3)	総事業費 (1)+(2)	1,638,000	1,638,000	6,304,000	4,129,170	2,174,830	65.5%
(4)	事業収益(円)			0	0	0	-
(5)	財源充当額 (3)-(4)	1,638,000	1,638,000	6,304,000	4,129,170	2,174,830	65.5%
(6)	延べアクセス数	-	-	4,000	1,435	2,565	35.9%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	-	-	1,576	2,877	1,301	182.6%
【目的】							
1 当館が有する情報や資源を区内外の多くの人々と共有し、新宿の歴史や文化への理解・関心度を高める。							
2 館の情報や区内史跡等の解説情報がいつでもどこでも入手可能となるシステムを構築し、地域文化資源の活性化を図る。							
3 歴史・文化情報を発信する拠点基地として当館を位置づけ、当館が持つ人的資源・物的資源を十分に活用する。							
【目標・成果指標】							
1 展示資料やミュージアムグッズにICチップ等を貼付し、情報を自由に得ることのできるシステム環境の整備を行う。							
2 情報を手軽に入手できるシステムネットワークの利便性を生かし、区民等に対し新宿の歴史・文化情報を積極的に発信する。							
3 長期的なシステムの運用を視野に入れ、区内歴史文化資源の顕在化と情報化を進めシステム導入に向け情報精査やインフラ整備への調査を行う。							
【課題】							
1 館の運営に有効なシステムが導入できるよう内容を精査する。							
2 システムの導入が、館の入館者数等の増加に反映できるよう工夫を凝らす。							
3 システムのハード、ソフト共に継続的な発展を可能とするため他部署との連携が必要となる。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:47.8%(1,435件/4,000件) 前年度比: %(/)							
< 内訳・内容 >							
1 「四谷文化ネット」参加館計13館と周辺文化財、坂道計10か所の説明と地図情報を、QRコードを用いて紹介する携帯サイトを作成し、情報発信を行った。							
2 前年度導入したQRコードによる博物館内の情報を、更新可能とするシステム改良を行った。							
3 博物館内情報(21年度導入)年間アクセス件数1,435件							
【今後の課題】							
1 落合地区の文化拠点ネットワーク事業の動向を踏まえ、落合地区の文化資源の顕在化、情報化を進める。							
2 区内他地域の文化資源の顕在化、情報化を進め、区内のフィールドミュージアム構想推進を図る。							
3 長期的な運用とインフラ整備に向け、区担当部局との協議を行う。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	2,000		0	2,000	0	2,000	0.0%
消耗品費	41,000		0	41,000	0	41,000	0.0%
委託費	3,633,000		0	3,633,000	1,638,000	1,995,000	45.1%
人件費	2,628,000			2,628,000	2,491,170	136,830	94.8%
事業費合計(円)	6,304,000			6,304,000	4,129,170	2,174,830	65.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 博物館が有する資料や情報を活用し、地域の坂道等文化資源情報を発信し始めることができた。 2 区内文化資源ネットワーク事業(四谷文化ネット)と連動させることで、地域文化資源情報の積極的発信を行った。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-4		
刊行物の再版		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 新宿区に関する地域の歴史と文化の普及・啓発のため刊行物を再版し、販売する。 2 これまで発刊した刊行物の中で需要と啓発的価値の高い刊行物を再版し、利用者の満足度を高め売上を確保する。						
事業区分	1 主催事業	対象者					
	4 指定管理事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
				団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
				団体			
歳出科目	会計	大科目	参加者数	人			
	収益事業等会計	事業費支出	延べ	団体			
		中科目	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	4,500,000	2,743,119	3,151,000	3,145,532	5,468	99.8%
(2)	人件費(円)		35,770	38,000	34,100	3,900	89.7%
(3)	総事業費 (1)+(2)	4,500,000	2,778,889	3,189,000	3,179,632	9,368	99.7%
(4)	事業収益(円)	3,000,000	3,089,910	3,100,000	4,750,165	1,650,165	153.2%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	1,500,000	311,021	89,000	1,570,533	1,659,533	1761.2%
(6)	延べ販売部数	3,500	3,594	3,700	5,585	1,885	150.9%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	429	87	24	281	305	1166.7%
【目的】 新宿及び関連する地域の歴史・文化に関する刊行物を再版することにより、新宿及び関連する地域の歴史・文化の普及・啓発を図る。							
【目標・成果指標】 これまで発刊した刊行物の中で需要の多い刊行物や啓発的価値が高いものを再版し、利用者の満足度を高めることと普及・啓発の両面の要請に応える。							
【課題】 1 特別区自治情報・交流センター、区政情報センター、新宿文化センター、新宿コズミックセンター(財団本部)等での品揃えを充実させるとともにHPでのPRを工夫することで販売を推進する。 2 紀伊國屋書店以外の書店等での販売を推進する。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 150.9%(5,585部/3,700部) 前年度比161.9%(5,585部/3,450部) < 内訳・内容 > 1 総売上 22年度 5,585件 4,750,165円 21年度 3,594件 3,089,910円 2 22年度売上ベスト 1位 佐伯祐三展図録 1,462部、2位 新宿風景 685部、3位 史跡めぐり地図 356部、4位 花ごよみ 351部、5位 田辺茂一と新宿文化の担い手 295部 3 刊行物の再版 花ごよみ 2,000部、佐伯祐三展図録 3,000部、林芙美子記念館図録 1,000部、新宿風景 2,000部、江戸名所図会 1,000部 4 販売の促進 新宿文化センターでの刊行物取扱開始(9月)。財団本部での取扱刊行物の種類の増加、来館者にとって魅力ある売場とするための整備を行った。							
【今後の課題】 1 PR活動等による一層の販売促進を行う。 2 在庫数を確認し、在庫数の少ないものや人気の高い刊行物の再版を計画的に行う。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費	100,000			100,000	97,084	2,916	97.1%
印刷製本費	336,000		2,649,000	2,985,000	2,982,982	2,018	99.9%
使用料及び賃借料	0		66,000	66,000	65,466	534	99.2%
人件費	38,000			38,000	34,100	3,900	89.7%
事業費合計(円)	474,000		2,715,000	3,189,000	3,179,632	9,368	99.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入	3,100,000			3,100,000	4,750,165	1,650,165	153.2%
合計(円)	3,100,000			3,100,000	4,750,165	1,650,165	153.2%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	<p>1 平成22年度刊行物の販売数は、5,585部で、対前年比161.9%であった。また、販売金額の予算比は153.2%に達した。</p> <p>2 『花ごよみ』の新版、『江戸名所図会』『林芙美子記念館図録』『新宿風景』『佐伯祐三展図録』の再版を行った。</p> <p>3 平成20年度から行っている紀伊國屋書店での委託販売は、販売数、金額共に増加した。</p> <p>4 来館者にとって魅力ある売場とするため、刊行物の販売コーナーの整備を行った。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-5		
区内文化資源ネットワークの推進 (総括)		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 区内の博物館、美術館等の拠点と協働しながら様々な事業を企画・実施することにより、区内文化資源拠点のネットワーク構築を図る。2 区内民間企業や大学等との連携事業を企画・実施することで、文化資源の発掘と整備を行い、区内文化資源情報のネットワーク構築を図る。3 区内文化資源拠点と情報を有機的に結び付け発信することにより、地域の資源として共有・活用を図るための基盤整備を行う。						
事業区分	1 主催事業	対象者	一般				
	1 自主事業	会場					
関係団体	消防博物館、他12館(四谷文化ネット参加館)、毎日新聞社、NPO法人遠野物語研究所、福井県ブランド営業課、新宿中村屋、東京新聞社	部屋名					
		指導員・講師等	博物館職員、博物館ボランティア				
周知	方法 広報紙(Oh!レガス) ホームページ	備考			定員(延べ)	延べ 人	
	方法	期間			応募者数	延べ 人	
申込み				参加者数	延べ 団体 804人		
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	475,000	400,578	695,000	480,497	214,503	69.1%
(2)	人件費(円)	-	353,181	374,000	358,362	15,638	95.8%
(3)	総事業費(1)+(2)	475,000	753,759	1,069,000	838,859	230,141	78.5%
(4)	事業収益(円)	-	132,800	310,000	140,800	169,200	45.4%
(5)	財源充当額(3)-(4)	475,000	620,959	759,000	698,059	60,941	92.0%
(6)	延べ参加者数	3,000	3,158	1,340	804	536	60.0%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	158	197	566	868	302	153.3%
<p>【目的】1 区内の博物館、美術館等の拠点と協働しながら様々な事業を企画・実施することにより、区内文化資源拠点のネットワーク構築を図る。 2 区内民間企業や大学等との連携事業を企画・実施することで、文化資源の発掘と整備を行い、区内文化資源情報の蓄積を図る。 3 区内文化資源拠点と情報を有機的に結び付け発信することにより、地域の資源として共有・活用を図るための基盤整備を行う。</p>							
<p>【目標・成果指標】1 区内博物館、美術館との連携事業を継続して開催し、地域の歴史文化情報発信拠点として連携を強化する。 2 区内大学や民間企業等をはじめ、区内各地区の文化施設や団体との協働による事業を展開することで、文化資源情報の蓄積を図る。 3 区内文化資源拠点と情報を有機的に結び付け発信する拠点として、博物館の機能を強化する。</p>							
<p>【課題】1 区内の文化資源を有機的に結び付け、地域の資源として共有・活用を図るための基盤づくり。 2 地域の歴史・文化の普及開発を推進するネットワークの構築とこれを有効活用する人材育成。</p>							
<p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:60.0% (804人/1,340人) 前年度比:197.1% (804人/408人) < 内訳・内容 > 1 四谷文化ネット マップ再版とスタンプラリーの実施 (達成者計99人) 2 「ユビキタスネットワーク」事業にて、QRコードによる四谷文化ネット参加館の紹介携帯サイトを立ち上げた。 3 遠野物語発刊100周年記念事業(毎日新聞、NPO法人遠野物語研究所との協働事業) 総参加者計550人。 4 特別展「酒井忠勝と牛込矢来屋敷」関連パネル展示 (連携:福井県ブランド営業課) 期間:7月17日(土)~9月30日(木) 5 協働企画展「新宿中村屋に咲いた文化芸術」 期間:平成23年2月19日(土)~4月10日(日) (1)パネル展示(連携:新宿中村屋) (2)中村屋連携事業 参加者計91人 6 文化講演会 (1)「新宿はいつも思春季」(連携:東京新聞)9月11日(土)参加者64人 (2)「食と文化で知る文化芸術」(連携:東京新聞)平成23年3月19日(日) 東日本大震災を受け東京新聞と協議の結果中止。</p>							
<p>【今後の課題】 1 区内の文化資源を有機的に結び付け、地域の資源として共有・活用を図るための基盤づくり。 2 フィールドミュージアムを視野に入れた事業展開。 3 財団各課との連携。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	5,000			5,000	800	4,200	16.0%
消耗品費	63,000		45,000	108,000	45,147	62,853	41.8%
印刷製本費	416,000			416,000	368,550	47,450	88.6%
諸謝金	148,000		45,000	103,000	66,000	37,000	64.1%
委託料	63,000			63,000	0	63,000	0.0%
人件費	374,000			374,000	358,362	15,638	95.8%
事業費合計(円)	1,069,000		0	1,069,000	838,859	230,141	78.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入	310,000			310,000	140,800	169,200	45.4%
合計(円)	310,000			310,000	140,800	169,200	45.4%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 四谷文化ネットは、上半期は各機関との調整、マップ製作準備に終わり、10月にマップ3万部を発行し、スタンプラリーを実施した。博物館は12月・1月の期間休館していたため、スタンプラリーを利用した集客ができなかった。またマップに載せる予定であった広告は、時間的余裕が足りず、集められなかった。</p> <p>2 文化資源の集積発信事業は地域や民間企業との連携を行い、多くの実績を挙げたが、東日本大震災の影響で、2事業が中止となった。</p>
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-5-(1)		
区内文化資源ネットワークの推進 (1)文化拠点ネットワーク		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 区内文化資源の結びつきを図るため、地域の資源として共有・活用を図る拠点づくりを行う。 2 区内博物館、美術館等文化拠点との連携を図り、協働により事業を企画実施する。 3 おもちゃ美術館、消防博物館等、四谷地区の博物館・美術館との連携事業を継続的に推進し、地域団体との連携も行うことで、同地区の賑わいの創出を図る。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	1自主事業	会場					
関係団体	消防博物館、他12館(四谷文化ネット参加館)	部屋名					
		指導員・講師等	博物館職員、博物館ボランティア				
周知	方法	備考			定員(延べ)	延べ 人	
	広報紙(Oh!レガス) ホームページ				応募者数	延べ 人	
申込み	方法	期間			参加者数	スタンブラリー達成者 団体 99人	
					延べ		
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	287,000	260,238	460,000	368,550	91,450	80.1%
(2)	人件費(円)	-	-	224,000	215,017	8,983	96.0%
(3)	総事業費(1)+(2)	287,000	260,238	684,000	583,567	100,433	85.3%
(4)	事業収益(円)	-	-	100,000	0	100,000	0.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	287,000	260,238	584,000	583,567	433	99.9%
(6)	延べ参加者数	-	37	500	99	401	19.8%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	7,033	1,168	5,895	4,727	504.7%
<p>【目的】1 地域の博物館、美術館、大学、民間企業等の拠点と協働しながら、スタンブラリー、見学会、講演会等、様々な事業を企画・実施することにより、区内外の人々に新宿の歴史や文化を身近に感じ、親しんでもらうとともに、当館の活動を広く区内外に周知し、地域の賑わいを創出する。 2 区内の文化資源の各拠点を有機的に結び付けることにより、地域の資源として共有・活用を図るための基盤を整備する。</p> <p>【目標・成果指標】1 四谷地区の博物館、美術館のスタンブラリー等の連携事業を継続して開催し、地域の歴史文化情報を発信。 2 四谷地区で構築されたネットワークを基盤にし、区内全域に及ぶものに発展させる。 3 区内大学や民間企業等をはじめ、区内各地区の文化施設との協働による事業を展開することで連携を図る。</p> <p>【課題】1 区内の文化資源を有機的に結び付け、地域の資源として共有・活用を図るための基盤づくり。 2 地域の歴史・文化の普及開発を推進するネットワークの構築とこれを有効活用する人材育成。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:19.8% (99人/500人) 前年度比:267.6% (99人/37人) < 内訳・内容 > 1 昨年度に立ちあげた「四谷文化ネット」(新宿歴史博物館・消防博物館・駐日韓国大使館韓国文化院・東京おもちゃ美術館・佐藤美術館・民音音楽博物館・新宿御苑・太宗寺・釣り文化資料館・アンパンマンショップ・ポートレートギャラリー・須賀神社・キムチ博物館 13機関が連携)を継続し、5月に連絡会を開催。 2 夏休みこども講座として、四谷文化ネット参加館の韓国文化院、民音音楽博物館と連携事業を実施。 3 マップ30,000部を再版し10月1日からスタンブラリーを開催。3館以上入館者99人に記念品贈呈。 4 「ユビキタスネットワーク」事業にて、QRコードによる「四谷文化ネット」参加館の紹介携帯サイトを立ち上げた。</p>							
<p>1 文化拠点を核とし、地元商店街を始めとした幅広い連携による地域の活性化。 2 文化拠点ネットワークを基盤にした、新たな協働事業の展開。 3 「四谷文化ネット」に続く、落合地区の文化拠点ネットワーク立ち上げに向けた準備を進める。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
消耗品費	40,000			40,000	0	40,000	0.0%
印刷製本費	416,000			416,000	368,550	47,450	88.6%
人件費	224,000			224,000	215,017	8,983	96.0%
事業費合計(円)	684,000			684,000	583,567	100,433	85.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
広報紙広告料収入	100,000			100,000	0	100,000	0.0%
合計(円)	100,000			100,000	0	100,000	0.0%

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	2	<p>1 四谷文化ネットについては、上半期は各機関との調整、マップ製作準備に終わり、10月にマップ3万部を発行し、スタンプラリーを実施した。博物館は12月・1月の期間休館していたため、スタンプラリーを利用した集客ができなかった。</p> <p>2 マップの広告収入については、準備不足で達成できなかった。</p> <p>3 落合文化ネットは指定管理事業として実施しているが、落合地域の文化資源を有機的に結び付ける事業として展開中。</p>
---------------	---	---

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-5-(2)		
1-5区内文化資源ネットワークの推進 (2)文化資源情報の集積・発信		開催日時	別表参照				
		参加料設定	別表参照				
内容	1 区内文化資源情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域の資源として共有・活用する基盤づくりを行う。 2 新宿の老舗企業をはじめとする民間企業や大学、専門学校等と連携を図り、協働して事業を企画実施する。						
事業区分	2 連携事業	対象者	どなたでも				
	1 自主事業	会場					
関係団体	JR東日本、毎日新聞社、NPO遠野物語研究所、福井県ブランド営業課、東京新聞社、NHK、新宿中村屋		指導員・講師等				
	方法	備考	定員(延べ)	840人			
周知	広報紙	ポスター・チラシ	団体	432人			
	ホームページ	メールマガジン	応募者数	団体			
申込み	方法	期間	参加者数				
	往復はがき 電話・FAX HP・E-mail		延べ	705人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	1号事業支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	188,000	140,340	235,000	111,947	123,053	47.6%
(2)	人件費(円)	-	-	150,000	143,345	6,655	95.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	188,000	140,340	385,000	255,292	129,708	66.3%
(4)	事業収益(円)	180,000	132,800	210,000	140,800	69,200	67.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	8,000	7,540	175,000	114,492	60,508	65.4%
(6)	延べ参加者数	560	371	300	705	405	235.0%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	14	20	583	162	421	27.8%
【目的】							
1 地域の大学、民間企業、専門学校等の有する文化資源を効率的に収集し、広く区内外に周知する。 2 区内文化資源情報の整理と周知により、区内の人々に新宿の歴史や文化を身近に感じ、親しんでもらう。							
【目標・成果指標】							
1 区内歴史文化資源情報の発掘、収集を行うため、区内大学や民間企業等との協働による事業を展開する。 2 協働事業の実施により、文化資源情報の整理とネットワーク化を推進し、博物館をその拠点として位置づける。							
【課題】							
1 区内の文化資源の発掘と、これを有機的に結び付け、地域の資源として共有・活用を図るための基盤づくり。 2 地域の歴史・文化の普及開発を推進するネットワークの構築と人材育成。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 235%(705人/300人) 前年度比: 190.0%(705人/371人)							
< 内訳・内容 >							
1 遠野物語発刊100周年記念事業(毎日新聞、NPO法人遠野物語研究所との協働事業)							
(1)毎日新聞協働企画写真展「聖地日和」(連携:毎日新聞社) 実施期間:4/3(土)~6/30(水) 展示点数18点、博物館1F エントランス れきはくギャラリーにて							
(2)遠野物語講座(連携:遠野物語研究所) 定員180人 応募者75人 参加者延べ150人 5/30(日)「新宿で生まれた「遠野物語」」 6/6(日)「遠野物語の舞台「遠野」」 6/20(日)「柳田國男と遠野物語」							
(3)シンポジウム「遠野物語」ゼミナール2010「21世紀と遠野物語」(共催事業)(連携:NPO法人遠野物語研究所)6/26(土)会場:四谷区民ホール 定員400人(新宿区分100人) 応募者111人(新宿区分) 参加者400人(新宿区分88人)							
2 特別展「酒井忠勝と牛込矢来屋敷」関連パネル展示 (連携:福井県ブランド営業課)実施期間:7/17(土)~9/30(木)							
3 協働企画展「新宿中村屋に咲いた文化芸術」							
(1)関連パネル展示(連携:新宿中村屋) 実施期間:2/1(火)~4/10(日)							
(2)中村屋連携事業 「中村屋シェフによるカレー料理教室」2/26(土)3/9(金)・19(土)・26(土) 定員各30人 応募者221人 参加者延べ77人 3/26(土)は東日本大震災後の会場(角筈地域センター)使用中止により開催中止 「中村屋サロンへようこそ~エロシエンコ童話の世界を描く~」3/6(日) 定員40人 応募者25人 参加者14人							
4 文化講演会							
(1)「新宿はいつも思春季」(連携:東京新聞)9/11(土) 定員100人 応募者87人 参加者64人							
(2)「食と文化で知る文化芸術」(連携:東京新聞)3/19(日) 東日本大震災のため東京新聞との協議により中止							
【今後の課題】							
1 今後の事業の連携も視野に入れ、今までの連携先と継続して関係を築いていく。 2 新宿区内各地域や大学、民間企業とより積極的に連携を図り、文化資源ネットワークの推進を図る。 3 特別展や所蔵資料展等の関係団体と積極的に連携を図り、展示以外の事業(講演等)を展開していく。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	1,000			1,000	800	200	80.0%
消耗品費	23,000		45,000	68,000	45,147	22,853	66.4%
諸謝金	148,000		45,000	103,000	66,000	37,000	64.1%
委託費	63,000			63,000	0	63,000	0.0%
人件費	150,000			150,000	143,345	6,655	95.6%
事業費合計(円)	385,000		0	385,000	255,292	129,708	66.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入	210,000			210,000	140,800	69,200	67.0%
合計(円)	210,000		0	210,000	140,800	69,200	67.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 地域、民間企業との連携を行い、多くの実績を上げてきている。</p> <p>2 アンケート結果より、概ね満足という声が多く寄せられている。</p> <p>3 協働企画展開催期間中に関連する協働連携事業を行うことにより、効率的なPRを行うことができた。</p> <p>4 3月11日に発生した東日本大震災の影響で、2事業(カレー料理教室、東京新聞文化講演会)が中止となったため、参加者数が少なくなった。</p>
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-6		
文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (総括)		開催日時	1-6-(1)、1-6-(2)、1-6-(3)参照				
		参加料設定	1-6-(1)、1-6-(2)、1-6-(3)参照				
内容	1 国史跡「林氏墓地」の公開 2 「江戸城外堀跡」の普及啓発 3 高田馬場流鏑馬の公開 4 新宿区伝統芸能フェスティバル						
事業区分	1 主催事業	対象者	一般				
	2 補助事業	会場					
関係団体	新宿区・新宿区教育委員会・東京都教育委員会他	部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
	財団広報誌、財団HP	チラシ・メンバーズ倶楽部通信		団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
	往復はがき HP・Eメール チラシ・電話・FAX	各事業実績参照		参加者数 延べ	団体		
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	4,820,000	4,449,653	5,232,000	4,519,001	712,999	86.4%
(2)	人件費(円)	315,000	354,988	796,000	733,463	62,537	92.1%
(3)	総事業費(1)+(2)	5,135,000	4,804,641	6,028,000	5,252,464	775,536	87.1%
(4)	事業収益(円)	77,000	47,300	232,000	228,700	3,300	98.6%
(5)	財源充当額(3)-(4)	5,058,000	4,757,341	5,796,000	5,023,764	772,236	86.7%
(6)	延べ参加者数	3,960	4,603	4,590	4,693	103	102.2%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	1,277	1,034	1,263	1,070	192	84.8%
<p>【目的】1 国史跡「江戸城外堀跡」、「林氏墓地」の普及啓発活動を行うことで、保護保存、普及活用に寄与する。2 新宿区指定無形民俗文化財「高田馬場流鏑馬」の実施に支援・協力をを行うことで、保護・継承・普及に寄与する。3 新宿区指定・登録無形民俗文化財、名誉区民に代表される区内の伝統芸能保持者の上演を行うことで、保存・育成・継承を図る。</p> <p>【目標・成果指標】1 国史跡の文化財としての価値を、区民をはじめ多くの人々に周知するため、様々な方法で周知を行う。2 「林氏墓地」…公開事業3日間で300人を目指す。3 「江戸城外堀跡」…講座と関連まち歩きを通じ、300人の参加者を目指す。4 高田馬場流鏑馬…3,500人の観客動員を目指す。5 新宿区伝統芸能フェスティバル…観覧者400人を目指す。</p> <p>【課題】1 見学者を増加させるため、PR強化を図ると共に、周囲の文化財や関連する場所等との連携を検討する。2 史跡本来の現状回復のため、現状調査の結果と各種資料から問題点を把握し、区に改善を求める。3 観覧者の増加を図るため、外国人へ向けたPRも行っていく必要がある。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:102.2%(4,693人/4,590人) 前年度比:11.26%(4,603人/3,960人) < 内訳・内容 > 1 林氏墓地の公開 (1)東京文化財ウィークに関連して一般公開。11月3日158人、6日110人、7日72人の合計340人 (2)林氏墓地関係まち歩き:林氏墓地の公開に伴い関連史跡めぐりの実施。参加者数31人。 2 「江戸城と江戸のくらし」講座の開催 (1)「江戸城のはじまり」受講者数:81人 (2)「近代鉄道敷設と江戸城外堀」受講者数:72人 (3)「江戸城内の儀礼」受講者数:69人 (4)「江戸城と江戸っ子」受講者数:75人 (5)「史跡『江戸城外堀跡』の未来像」受講者数:65人の全5回を5月16日～6月13日の各日曜日開催。合計受講者数362人。 3 「江戸城外堀跡まち歩き」の開催:江戸城外堀跡の普及啓発のための関連史跡めぐりの実施。参加者数:54人。 4 高田馬場流鏑馬の公開:本年度も行列行進を行い沿道500人・会場3,200人の観覧者を得た。合計3,700人。 5 新宿区伝統芸能フェスティバル:「第1回新宿区伝統芸能フェスティバル」として開催。出演団体は、区内団体「戸塚囃子保存会」「萩原社中」(区指定無形民俗文化財)区外団体「柏木野神代神楽保存会」「八王子車人形」さらに、区総務課の協力を得て、伝統芸能の技能を有する新宿区名誉区民鶴賀者狭猿氏(人間国宝)を含む5団体の上演を行った。参加者数:206人(有料入場者:94人)。</p> <p>【今後の課題】 1 林氏墓地公開と関連史跡めぐり、江戸城講座は、リピーターの確保と新たな参加者を獲得するためのPR活動を工夫する。 2 伝統芸能フェスティバルは、子どもにも伝わる周知方法と、外国人の来場を増やすための工夫が必要である。 3 高田馬場流鏑馬の公開は、これまでと同様に流鏑馬保存会や戸塚警察署等と連携し、参加者の安全を確保する。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	25,000			25,000	6,080	18,920	24.3%
旅費交通費	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
通信運搬費	19,000			19,000	4,020	14,980	21.2%
消耗品費	87,000			87,000	83,453	3,547	95.9%
印刷製本費	842,000			842,000	421,871	420,129	50.1%
使用料及び賃借料	6,000			6,000	2,100	3,900	35.0%
諸謝金	147,000			147,000	111,000	36,000	75.5%
委託費	4,102,000			4,102,000	3,890,477	211,523	94.8%
人件費	796,000			796,000	733,463	62,537	92.1%
事業費合計(円)	6,028,000			6,028,000	5,252,464	775,536	87.1%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
観覧賞収入(伝統芸能フェスティバル)	48,000			48,000	28,200	19,800	58.8%
参加料収入(江戸城外堀)	152,000			152,000	188,100	36,100	123.8%
参加料収入(林氏墓地)	32,000			32,000	12,400	19,600	38.8%
合計(円)	232,000			232,000	228,700	3,300	98.6%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
86.0%	32.8%	4.3

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 屋外での解説には、場所や話すタイミングを工夫する必要がある。</p> <p>2 屋外での事業では、観覧者の安全確保や誘導員の確保も重要となる。</p> <p>3 各事業のPR活動については、早い段階からいろいろな機会を利用し、様々な施設において配布する必要がある。外国人観光客の集客も確保できるように努め、魅力ある広報文の作成も必要である。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-6-(1)		
文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (1)国史跡の普及啓発		開催日時	下記参照				
		参加料設定					
内容	1 国史跡「林氏墓地」の公開 2 「江戸城外堀跡」の普及啓発						
事業区分	1 主催事業	対象者	一般区民等				
	2 補助事業	会場	国史跡 林氏墓地(山伏町1-15)、江戸城外堀跡、				
関係団体		部屋名	新宿歴史博物館2階講堂				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考			定員(延べ)	760人	
	広報紙(Oh!レガス) 区報、ホームページ、チラシ				応募者数	298人	
申込み	方法	期間			参加者数	787人	
	往復はがき HP Eメール				延べ		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的会計	事業費支出		1号事業費			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,295,000	925,662	1,028,000	791,623	236,377	77.0%
(2)	人件費(円)	315,000	319,218	416,000	385,518	30,482	92.7%
(3)	総事業費 (1)+(2)	1,610,000	1,244,880	1,444,000	1,177,141	266,859	81.5%
(4)	事業収益(円)	32,000	16,400	184,000	200,500	16,500	109.0%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	1,578,000	1,228,480	1,260,000	976,641	283,359	77.5%
(6)	延べ参加者数	580	720	760	787	27	103.6%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	2,721	1,706	1,658	1,241	417	74.9%
<p>【目的】1 大正11年に国史跡に指定され、昭和50年より新宿区が管理している「林氏墓地」の公開と維持管理を行うことにより、文化財(史跡)の普及を図るとともに、保護保存を行う。2 昭和31年に国史跡に指定された「江戸城外堀跡」の普及啓発活動を実施することで、保護保存、普及活用に寄与する。</p> <p>【目標・成果指標】国史跡の文化財としての価値を、区民をはじめ多くの人々に周知するため、さまざまな方法で周知を行う。</p> <p>【課題】1 国史跡の保護保存を図るために必要な対策の策定 2 見学者を増加させるため、PR強化を図ると共に、周囲の文化財や関連する場所等との連携を検討する。3 史跡本来の現状に復するため、現状調査の結果と各種の資料から問題点を把握し、区に改善を求める。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 103.6%(787人/760人) 前年度比: 109.3%(787人/720人) < 内訳・内容 > 1 国史跡「林氏墓地」 (1) 林氏墓地の公開: 東京文化財ウィークに関連して国史跡林氏墓地を一般に公開。史跡ガイドボランティアによるガイド(3日間で延べ8人)。来場者は11月3日158人、6日110人、7日72人の計340人。 (2) 林氏墓地関連史跡めぐり: 林氏墓地関係、および周辺の文化財に関する史跡めぐりを実施。コース: 護国寺 吹上稲荷 大塚先儒墓所 関口芭蕉庵・大洗堰 林氏墓地。ボランティア10人がガイドと誘導を担当。 (3) 林氏墓地内樹木の剪定と除草(第1回: 6月28日・7月10日、第2回: 8月24日、第3回: 10月7日)。 (4) 史跡内墓石現状調査(10月27日実施。3月16日東日本大震災後の調査、3月19日復旧作業実施) 2 国史跡「江戸城外堀跡」 (1) 江戸城外堀跡: 平成21年度までの受託事業から補助事業へ移管。 (2) 江戸城講座: 全5回。全回参加者76人、単回参加者16人 (3) 江戸城外堀まち歩き: 14キロの外堀のうち、日比谷から四ツ谷までのコース。参加者54人。</p> <p>【今後の課題】 1 林氏墓地の公開は、地盤や樹木の根による足場の悪化や、墓石の転倒が危惧される。このため、来場者への安全に対するケアを行うとともに、墓石や史跡内環境の保存・保護について新宿区所管課と協議する。 2 林氏墓地史跡めぐりは、31人の参加に終わった。来年度は、より積極的に事業の周知とPRを行う。 3 講座の開催日について平日希望者が多かった。また、講座参加者はリピーターが過半数を占めているため、新たな参加者が増えるような周知が必要。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
消耗品費	58,000			58,000	56,773	1,227	97.9%
印刷製本費	195,000			195,000	0	195,000	0.0%
使用料及び賃借料	6,000			6,000	2,100	3,900	35.0%
諸謝金	111,000			111,000	87,000	24,000	78.4%
委託費	654,000			654,000	645,750	8,250	98.7%
人件費	416,000			416,000	385,518	30,482	92.7%
事業費合計(円)	1,444,000			1,444,000	1,177,141	266,859	81.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	184,000			184,000	200,500	16,500	109.0%
合計(円)	184,000			184,000	200,500	16,500	109.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
103.5%	38.5%	4.5

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>[林氏墓地の公開]1 昨年、近隣住民より墓地内樹木の落ち葉によって軒樋が詰まるという苦情が寄せられたため、春に住宅側樹木の強剪定を行った。2 公開2週間前から墓地入口扉に公開の案内を掲示しておいたところ、それを見たので来たという近隣住民が散見された。3 ボランティアの解説も好評であった。4 史跡めぐりは定員に満たなかった。儒学関連の地味な見学地が多いため、広報では魅力あるリード文を考える必要がある。</p> <p>[江戸城外堀跡]1 定員60人の講座に対し、参加者平均72.4人になった。2 前年度より延べ参加者数が132人増えた。3 大きな通りでの説明があったので、解説者の声が聞き取りにくい時もあった。</p>
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-6-(2)		
文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (2)高田馬場流鏑馬の公開		開催日時	体育の日(10月11日)14時～15時30分				
		参加料設定	なし				
内容	1 区指定無形民俗文化財「高田馬場流鏑馬」(毎年体育の日に開催)の支援・協力をを行うとともに様々な媒体を用いてPRを行う。 2 高田馬場流鏑馬保存会と連携して運営を行い、特に会場等の安全性を重視する。						
事業区分	2連携事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場	都立戸山公園(箱根山地区)				
関係団体	新宿区・新宿区教育委員会・東京都教育委員会・高田馬場流鏑馬保存会・穴八幡宮	部屋名	高田馬場流鏑馬保存会				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
	広報紙 ホームページ	OH! レガス9・10月号・区報10月号 倶楽部通信27・28号	応募者数	人			
申込み	方法	期間	参加者数	会場3,200人、沿道500人			
		7月7日～10月11日 97日間	延べ	3,700人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	1号事業支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	2,970,000	2,903,816	3,170,000	2,938,143	231,857	92.7%
(2)	人件費(円)	-	71,540	267,000	242,173	24,827	90.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	2,970,000	2,975,356	3,437,000	3,180,316	256,684	92.5%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	2,970,000	2,975,356	3,437,000	3,180,316	256,684	92.5%
(6)	延べ参加者数	3,000	3,700	3,500	3,700	200	105.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	990	804	982	860	122	87.5%
【目的】昭和63年度に新宿区の無形民俗文化財に指定された「高田馬場流鏑馬」の公開に伴う支援・協力をを行うことにより、新宿区を代表する伝統行事である「高田馬場流鏑馬」の普及、及び保護・保存を支援する。							
【目標・成果指標】1 様々な媒体・機会をとおしてPRを実施し、観客数の増加を目指す。 2 外国人観光客に対するPRを実施し、観客数の増加を目指す。							
【課題】1 観客数を増加させるため、早めのPR活動を展開する。 2 外国人観覧者の増加のため、区内のホテル等、外国人観光客の利用する施設等を通じてPRを行う。 3 他の展示会等の事業との連携による集客の増加を検討する。							
【今年度の結果】平成20年度3,500人、平成21年度3,700人、平成22年度3,700人 < 成果指標に対する実績 > 達成率:105.7%(3,700人/3,500人) 前年度比:100.0%(3,700人/3,700人) < 内訳・内容 > 1 開催状況について (1)晴天に恵まれ観覧者3,700人(前年度同様)が参加。負傷者もなく無事に終了。外国人観覧者も多く観覧していた。 (2)本年度も、行列行進(穴八幡宮 夏目坂 若松町交差点 国立国際医療センター 箱根山通り 戸山公園会場)を行い、沿道には500人、会場観覧者は3,200人、合計3,700人の観覧者があった。 2 PR活動 広報紙のほか、区設掲示板へのポスター掲示やパンフレット配付を行った。ポスター・チラシに関しては、和文5,000部・英文3,000部印刷し、関係する全ての掲示板へ掲示し、区内9つの宿泊施設にも配布・掲示を依頼した。 3 会場設営に関して 会場設営に関する安全対策として、公園内の案内表示の設置やロープの設置と立入禁止表示を行い走路の確保と安全確保に努めた。							
【今後の課題】 晴天時は、3,500人を超える観覧者があることから、会場設営に関する安全対策として、公園内の案内表示、ロープの設置、立ち入り禁止表示、走路の確保、雨天時対策など関係機関と連携し安全確保に努める。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
印刷製本費	405,000			405,000	183,416	221,584	45.3%
委託費	2,755,000			2,755,000	2,754,727	273	100.0%
人件費	267,000			267,000	242,173	24,827	90.7%
事業費合計(円)	3,437,000	0	0	3,437,000	3,180,316	256,684	92.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	今年度の流鏝馬の公開は、好天に恵まれ早くから人の出があった。また、日差しが強かったことから日陰で見学する人が例年になく多かった。こうした観覧者の安全対策も保存会と連携して観覧者のための案内表示や誘導員の確保し誘導に当たるなど今後も続けて行きたい。
---------------	---	---

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-6-(3)		
文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (3)新宿区伝統芸能フェスティバル		開催日時	10月23日(土) 13時～16時				
		参加料設定	一般300円、小中学生無料				
内容	1 新宿区内の民俗芸能・伝統芸能の発展・推進のため実演を開催する。2 区指定・登録の無形民俗文化財の公開、後継者への発表の場の提供、名誉区民に代表される伝統芸能保持者の実演を行う。						
事業区分	1 主催事業	対象者	一般区民等				
	2 補助事業	会場	四谷区民ホール				
関係団体	新宿区、新宿区教育委員会		部屋名				
			指導員・講師等	出演団体5団体、監修・解説：高山茂			
周知	方法	備考			定員(延べ)	330人	
	広報紙 ホームページ	OH!レガス、広報しんじゅく メンバーズ倶楽部27・28号、チラシ			応募者数	人	
申込み	方法	期間			参加者数 延べ	94人(有料入場者)	
		9月20日～10月23日 33日間				206人	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	870,000	620,175	1,034,000	789,235	244,765	76.3%
(2)	人件費(円)	-	106,406	113,000	105,772	7,228	93.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	870,000	726,581	1,147,000	895,007	251,993	78.0%
(4)	事業収益(円)	45,000	30,900	48,000	28,200	19,800	58.8%
(5)	財源充当額(3)-(4)	825,000	695,681	1,099,000	866,807	232,193	78.9%
(6)	延べ参加者数	300	187	330	206	124	62.4%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	2,750	3,720	3,330	4,208	877	126.3%
<p>【目的】1 区指定「戸塚囃子」「萩原社中里神楽」、登録「落合餅つき唄」の公開場所を提供。保存と育成をはかっていく。 2 新宿は性格の異なる地域の団体も引き、新宿の民俗芸能・伝統芸能をより深く理解して、保護と活用に貢献していく。 3 名誉区民をはじめ、区内在住の伝統芸能の技術を有する方の実演を行い、技能の公開・継承に寄与していく。</p> <p>【目標・成果指標】1 新宿の歴史・文化に対する理解を深め、民俗芸能の保存、発展を図るため、区内の民俗芸能を実演する。2 名誉区民の実演、後継者や子どもたちの発表の場ともすることで、新宿の伝統芸能継承発展を図り、毎年実施により区内外に広く周知する。3 魅力あるプログラムやPRの強化を通して観覧者の増員を図り観覧者400人を目指して会場確保を行う。</p> <p>【課題】1 国際都市・新宿にふさわしい多様な出演団体からなるプログラムの検討が必要である。2 新宿区名誉区民など知名度のある出演者を呼び、集客力の向上を図る。3 毎年開催と積極的な周知活動により、本事業を多数の区民等に周知する。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率：62.4% (206人/330人) 前年度比：110.2% (206人/187人) < 内訳・内容 > 第1回新宿区伝統芸能フェスティバルとして開催。 1 参加者：206人(有料入場者：94人) 2 出演団体：5団体。区内団体「戸塚囃子保存会」「萩原社中」(区指定無形民俗文化財)区外団体「柏木野神代神楽保存会」「八王子車人形」さらに、新宿区総務課の協力を得て、伝統芸能の技能を有する新宿区名誉区民鶴賀若狭塚氏(国重要無形文化財保持者)を含む5団体の上演を行った。 3 出演団体、先行する同種のイベント開催者、特別区協議会および区内観光宿泊施設19施設にチラシ・ポスター配布を依頼しPRに努めた。 4 プログラム B5サイズ 全8頁を無償頒布。 5 事業サポートボランティア4人が受付等に従事した。</p> <p>【今後の課題】 1 これまで以上に早い段階からPR活動を行うとともに、多くの入場者を獲得するための周知方法とチラシの内容、配布先など検討する。 2 魅力的なプログラムを構成するために早い段階からの企画検討を行い、小中学生も来場できる内容を取り入れる。 3 毎年10月・11月は芸能関係イベントが開催されていることから、より効果的な日程となるよう調整する。また、次年度は、四谷区民ホールの改修工事が予定されていることから開催会場やイベント自体の開催方法も検討する。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	25,000			25,000	6,080	18,920	24.3%
通信運搬費	9,000			9,000	4,020	4,980	44.7%
消耗品費	29,000			29,000	26,680	2,320	92.0%
印刷製本費	242,000			242,000	238,455	3,545	98.5%
諸謝金	36,000			36,000	24,000	12,000	66.7%
委託費	693,000			693,000	490,000	203,000	70.7%
人件費	113,000			113,000	105,772	7,228	93.6%
事業費合計(円)	1,147,000			1,147,000	895,007	251,993	78.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
観覧料収入	48,000			48,000	28,200	19,800	58.8%
合計(円)	48,000			48,000	28,200	19,800	58.8%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
51.5%	21.4%	4.5

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	2	1 今回の出演団体の特徴や演目を考慮しプログラムを作成した。内容も同種のもが続かないように変化をもたせた構成とした。 2 解説は、出演者との対話形式も取り入れながら行ったが難しく、長いという声もあった。3 フェスティバルの内容には多くの方が満足していたが参加者を獲得するためのPRの強化を図る声もあり次年度では早い段階から企画を固めてPRの拡充を図る。(配布先の観光案内所の拡大・新宿・四ッ谷駅など)
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発		開催日時	詳細1-7-(1)～(4)参照				
		参加料設定					
内容	新宿区の歴史・文化に理解を深めるため、(1)展示会の開催、(2)新宿ミニ博物館の充実、(3)れきはくシネマサロン、(4)各種講座を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場					
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	41,800人		
	広報紙(Oh!レガス) ホームページ	ポスター・チラシ メンバーズ倶楽部通信			団体		
申込み	方法	期間		応募者数	人		
	往復はがき HP・Eメール				団体		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	18,093,000	14,088,362	20,571,000	14,448,862	6,122,138	70.2%
(2)	人件費(円)		17,598,442	21,807,000		21,807,000	0.0%
(3)	総事業費(1)+(2)	18,093,000	31,686,804	42,378,000	14,448,862	27,929,138	34.1%
(4)	事業収益(円)	2,510,000	2,306,800	4,347,000	3,585,800	761,200	82.5%
(5)	財源充当額(3)-(4)	15,583,000	29,380,004	38,031,000	10,863,062	27,167,938	28.6%
(6)	延べ参加者数	41,750	40,822	41,800	41,133	667	98.4%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	373	720	910	264	646	29.0%
<p>【目的】1 新宿の歴史・文化に理解を深めるため、展示会を通じて区民等へ新宿の歴史・文化に接する啓発を行う。2 新宿の文化財・伝統技術を継承し、区民や区外へ広くPRするために、ミニ博物館を支援していく。3 機会と場の提供を行うことで、歴史や文化に対し興味を持ってもらい、学びきっかけづくりを行っていく。</p>							
<p>【目標・成果指標】1 特別展・協働企画展で各5,000人、所蔵資料展で各3,000人の入場者を計画。2 展示会や講座の企画・運営等、活動の場と機会を提供し、博物館ボランティアを活用する。</p>							
<p>【課題】1 区民等に興味を抱かせる内容・テーマの設定を行い、常に情報収集し情報を発信していく。2 企画、事業運営に博物館ボランティアが参画できる体制を整備する。</p>							
<p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 99.8%(41,133人/41,800人) 前年度比: 100.8%(41,133人/40,822人) < 内訳・内容 > 1 展示会の開催 (1)特別展 佐伯祐三展(前年度より継続)、酒井忠勝展 観覧者数8,581人 (2)協働企画展 中村屋に咲いた文化芸術 観覧者数2,576人 (3)所蔵資料展 神楽坂の文士たち、新宿風景Part1、新宿風景Part2 観覧者数8,991人 2 ミニ博物館の充実 全7館(東京染ものがたり博物館、つまみかんざし博物館、十二社熊野神社の文化財、目白学園遺跡、染の里二葉苑、須賀神社三十六歌仙絵、内藤新宿太宗寺の文化財) 連携事業の実施、パンフレットの作成、看板の修繕の実施。ミュージアムショップにてミニ博物館商品の販売。 3 れきはくシネマサロン 3回実施 参加者35人 4 各種講座・講演会 9講座14コース実施 参加者延べ2,251人</p>							
<p>【今後の課題】1 特別展は長期計画を立て、準備していく必要がある。協働企画展は区内企業・団体などの歴史や所蔵資料を調査し、協働企画者を厳選する。所蔵資料展の中でも写真展は毎回好評であるが、戦前の写真が少ない。区民所蔵の写真を借用・寄贈してもらう方法も考えていく。2 ミニ博物館の周知を強化するとともに、文化拠点ネットワークとの連携を深める。3 れきはくシネマサロンについては、博物館所蔵フィルムの活用を図るとともにPR活動を強化する。4 各種講座講演会の内容に関して、アンケート調査を分析し、企画する。また、リピーターだけでなく、新規参加者が増えるような募集の方法を考える。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費支出	1,154,000	0	0	1,154,000	880,259	273,741	76.3%
印刷製本費支出	5,697,000	0	0	5,697,000	4,175,665	1,521,335	73.3%
臨時職員雇用賃金支出	503,000	0	0	503,000	0	503,000	0.0%
使用料及び賃借料支出	489,000	0	0	489,000	99,770	389,230	20.4%
委託料	9,347,000	0	60,000	9,287,000	7,203,561	2,083,439	77.6%
通信運搬費	142,000	0	0	142,000	55,412	86,588	39.0%
旅費交通費	1,127,000	0	0	1,127,000	613,850	513,150	54.5%
諸謝金	1,444,000			1,444,000	961,500	482,500	66.6%
保険料	510,000		60,000	570,000	319,615	250,385	56.1%
修繕費	158,000			158,000	139,230	18,770	88.1%
				0		0	
				0		0	
				0		0	
				0		0	
				0		0	
事業費合計(円)	20,571,000	0	0	20,571,000	14,448,862	6,122,138	70.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
博物館事業収入(図録)	1,550,000	0	0	1,550,000	853,600	696,400	55.1%
協働企画展協賛金	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0	100.0%
参加料収入	1,297,000			1,297,000	1,232,200	64,800	95.0%
合計(円)	4,347,000	0	0	4,347,000	3,585,800	761,200	82.5%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(1)		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催		開催日時	1-7-(1)-、1-7-(1)-、1-7-(1)- 参照				
		参加料設定	1-7-(1)-、1-7-(1)-、1-7-(1)- 参照				
内容	新宿の歴史文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館企画展示室				
関係団体	【共催】新宿区、新宿区教育委員会、【後援】小浜市、小浜市教育委員会、【協賛】日本通運(株)、日本興亜損害保険(株)	部屋名	新宿文化センター展示室				
		指導員・講師等	【協働企画】(株)中村屋				
周知	方法	備考	定員(延べ)	人 団体			
		博物館HP、都内関連施設および全国美ポスター、チラシ、メンバーズ倶楽部通信					
申込み	方法	期間	応募者数	人 団体			
			参加者数 延べ	20,389人 団体 20,389人			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	15,515,000	12,521,879	17,948,000	12,765,406	5,182,594	71.1%
(2)	人件費(円)	-	17,204,972	21,500,000	20,096,762	1,403,238	93.5%
(3)	総事業費 (1)+(2)	15,515,000	29,546,851	39,448,000	32,862,168	6,585,832	83.3%
(4)	事業収益(円)	960,000	524,400	3,050,000	2,353,600	696,400	77.2%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	14,555,000	29,022,451	36,398,000	30,508,568	5,889,432	83.8%
(6)	延べ参加者数	18,000	18,335	22,000	20,389	1,611	92.7%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	809	1,583	1,654	1,496	158	90.4%
【目的】新宿の歴史・文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。							
【目標・成果指標】1 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した区内外への積極的PRの実施。2 より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を広く求める。							
【課題】1 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した区内外への積極的PRの実施。 2 より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を広く求める。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 92.7%(20,389人/22,000人) 前年度比: 111.2%(20,389人/18,335人) < 内訳・内容 > 1 特別展 参加料: 一般300円、中学生以下無料。 観覧者総数: 8,581人 (1)佐伯祐三展(前年度より継続。42日間中の37日間(4月1日～5月9日 夜間開館:今年度12日間))...5,332人(その他、前年度は722人)(有料観覧者: 3,846人(前年度分413人))。 (2)酒井忠勝展(61日間(7月17日～9月19日 夜間開館10日間))...3,249人(有料観覧者: 1,778人)。記念講演会2回開催。展示会図録(頒布価格1,200円)刊行。売上423冊。 2 協働企画展「新宿中村屋に咲いた文化芸術」(48日間中の37日間(2月19日～3月31日。東日本大震災翌日は臨時休館。次年度4月10日まで)。夜間開館:今年度3日間。当初予定6日間。震災後の節電のため縮小) 参加料: 一般300円、中学生以下無料。観覧者数: 2,576人(有料観覧者: 1,372人)。記念講演会2回開催。関連事業(サロンコンサート)開催。展示会図録(頒布価格1,000円)刊行。売上346冊。 3 所蔵資料展 参加料: 無料 観覧者総数: 8,991人 (1)「神楽坂の文士たち」(48日間(5月22日～7月4日))...2,650人。関連講演会2回開催。 (2)「新宿風景Part1 戦前編」(54日間(10月2日～11月28日))...3,641人。ギャラリートーク2回。 (3)「新宿風景Part2 戦後編」(48日間(12月4日～1月30日))...2,700人。会場は新宿文化センター展示室。関連講演会2回開催。							
【今後の課題】 1 特別展は、長期的計画を立てた上で、関係諸機関との調整をしながら用意周到に準備していく必要がある。充実した展示会とするためにも、ひとつの展示会に3年間程度の準備時間を設ける必要がある。 2 協働企画展は、区内企業・団体などの歴史や所蔵資料を調査し、協働企画者を厳選して企画立案する必要がある。 3 写真展は毎回好評であるものの、戦前の写真が少ない。公募型の写真展などを開催し、区民所蔵の写真を借用・寄贈してもらうことも必要である。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	503,000			503,000	0	503,000	0.0%
旅費交通費	1,127,000			1,127,000	613,850	513,150	54.5%
通信運搬費	124,000			124,000	51,112	72,888	41.2%
消耗品費	656,000			656,000	610,450	45,550	93.1%
印刷製本費	4,605,000			4,605,000	3,504,748	1,100,252	76.1%
使用料及び賃借料	376,000			376,000	91,570	284,430	24.4%
諸謝金	700,000			700,000	370,500	329,500	52.9%
委託費	9,347,000		60,000	9,287,000	7,203,561	2,083,439	77.6%
保険料	510,000		60,000	570,000	319,615	250,385	56.1%
人件費	21,500,000			21,500,000	20,096,762	1,403,238	93.5%
事業費合計(円)	39,448,000	0	0	39,448,000	32,862,168	6,585,832	83.3%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
博物館事業収入(図録)	1,550,000			1,550,000	853,600	696,400	55.1%
協働企画協賛金	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0	100.0%
合計(円)	3,050,000	0	0	3,050,000	2,353,600	696,400	77.2%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
		4.1

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	<p>1 特別展、協働企画展は、美術運送業者、保険業者の協賛名義を得、コストダウンを行うことができた。</p> <p>2 企画展示室だけでなく、エントランスやホワイエ、特設コーナーなど展示会のテーマに合わせた企画を館内各所で展開し、好評であった。</p> <p>3 展示会に関連した記念講演会、関連講演会の他、自主事業において歴史講座、古文書講座、カレー料理教室など関連した内容で開催し、来館者の満足度を高めた。ふたつの所蔵資料展合同のチラシはPR効果があった。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(1)-		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催 特別展		開催日時	4月1日～5月9日(21年度3月27日より継続)、7月17日～9月19日				
		参加料設定	一般300円(団体20名以上で150円)、中学生以下無料				
内容	新宿の歴史文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館				
関係団体	【共催】新宿区、新宿区教育委員会、【後援】小浜市、小浜市教育委員会、【協賛】日本通運(株)、日本興亜損害保険(株)	部屋名	企画展示室				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
		博物館HP、都内関連施設および全国美		団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
			参加者数	団体			
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	1号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	14,083,000	11,407,532	10,657,000	8,189,744	2,467,256	76.8%
(2)	人件費(円)	-	12,741,616	13,523,000	12,640,863	882,137	93.5%
(3)	総事業費(1)+(2)	14,083,000	24,149,148	24,180,000	20,830,607	3,349,393	86.1%
(4)	事業収益(円)	1,000,000	618,500	800,000	507,600	292,400	63.5%
(5)	財源充当額(3)-(4)	13,083,000	23,530,648	23,380,000	20,323,007	3,056,993	86.9%
(6)	延べ参加者数	6,000	4,491	9,000	8,822	178	98.0%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	2,181	5,240	2,598	2,304	294	88.7%
【目的】新宿の歴史・文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。							
【目標・成果指標】1 9,000人の入館者数を目標とする(佐伯祐三展4,000人、酒井忠勝展5,000人)。2 展示会の企画・運営等、活動の場と機会を提供し、博物館ボランティアを活用する。							
【課題】1 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した区内外への積極的PRの実施。2 より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を広く求める。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 98.0%(8,822人/9,000人) 前年度比: 191.1%(8,822人/4,491人)							
< 内訳・内容 >							
1 事業概要							
(1)『佐伯祐三展 下落合の風景』(42日間中の37日間(4月1日～5月9日))...5,332人(その他平成21年度は722人)(有料観覧者:3,846人(21年度分413人))、関連事業(記念講演会)を含む総数6,178人。							
(2)酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷(61日間(7月17日～9月19日))...3,249人(有料観覧者:1,778人、無料観覧者1,471人)、関連事業(記念講演会)を含む総数3,490人。博物館施設の修繕工事のため、開催時期及び開催期間を大幅に変更して開催した。							
2 集客施策							
(1)会期中展示替えを行い、再来館・リピーターを増やした。							
(2)記念講演会の実施							
7月19日「大老酒井忠勝と将軍徳川家光」参加者:122人、							
9月5日「酒井忠勝と小堀遠州の茶」参加者:119人。							
(3)夜間開館(20時まで) 佐伯祐三展:12日間188人、酒井忠勝展:10日間52人。							
3 展示会図録の刊行 『酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷』全107頁、頒布価格1,200円。総売上:423冊。							
4 ボランティアの活用 展示ガイドボランティアに事前研修の上、展示解説・会場監視として従事した。							
【今後の課題】							
1 博物館の休館に伴い、特別展の会場である企画展示室に、新たに展示ケースを設置したが、ケースの利点(エアタイト、ファイバースコープライト)を活かした展示につなげていく。							
2 今後も新宿の歴史・文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマ等を幅広い視点から取り上げた展示会を行っていく。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	125,000			125,000	0	125,000	0.0%
旅費交通費	939,000			939,000	560,020	378,980	59.6%
通信運搬費	57,000			57,000	24,971	32,029	43.8%
消耗品費	175,000			175,000	166,300	8,700	95.0%
印刷製本費	1,875,000			1,875,000	1,763,790	111,210	94.1%
使用料及び賃借料	150,000			150,000	67,430	82,570	45.0%
諸謝金	432,000			432,000	225,500	206,500	52.2%
委託費	6,894,000		60,000	6,834,000	5,319,333	1,514,667	77.8%
保険料	10,000		60,000	70,000	62,400	7,600	89.1%
人件費	13,523,000			13,523,000	12,640,863	882,137	93.5%
事業費合計(円)	24,180,000		0	24,180,000	20,830,607	3,349,393	86.1%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
博物館事業収入(図録)	800,000			800,000	507,600	292,400	63.5%
合計(円)	800,000			800,000	507,600	292,400	63.5%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
		4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 美術運送業者、保険業者の協賛名義を得、コストダウンを行うことができた。 2 企画展示室だけでなく、エントランスやホワイエ、特設コーナーなど特別展のテーマに合わせた企画を館内各所で展開し、好評であった。 3 記念講演会の他、自主事業の古文書講座なども関連した内容とし、来館者の満足度のアップを目指した。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(1)-		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催 所蔵資料展		開催日時	下記参照				
		参加料設定	無料				
内容	新宿文化に理解を深めるため、常設展示以外のテーマに関して展示会を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館企画展示室				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	各3,000人(9,000人)		
	広報紙(Oh!レガス) ホームページ	ポスター・チラシ メンバーズ倶楽部通信		団体			
申込み	方法	期間		応募者数	人		
	往復はがき HP・Eメール			参加者数	8,991人		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,432,000	1,114,347	1,372,000	684,260	687,740	49.9%
(2)	人件費(円)	-	4,283,356	4,582,000	4,282,620	299,380	93.5%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,432,000	5,397,703	5,954,000	4,966,880	987,120	83.4%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,432,000	5,397,703	5,954,000	4,966,880	987,120	83.4%
(6)	延べ参加者数	12,000	13,844	9,000	8,991	9	99.9%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	119	390	662	552	109	83.5%
【目的】1 新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。2 普段は展示・公開していない博物館の所蔵資料を一般に公開し、区民等へ新宿の歴史・文化に接する啓発を行う。3 多様な機関との連携構築による展示会を開催する。							
【目標・成果指標】1回の所蔵資料展で3,000人の入館者を目標とする。							
【課題】1 区民の共同財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した区内外への積極的PRの実施。2 より多くの文化資源の公開、活用をめざすため、区内外の協働連携機関を広く求める。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:99.9%(8,991人/9,000人) 前年度比:65.0%(8,991人 / 13,844人)							
< 内訳・内容 >							
1 実施状況 (1)「神楽坂の文士たち」(5月22日(土)～7月4日(日) 41日間) 2,650人(1日平均64.6人)							
(2)「新宿風景 PART1戦前編」(10月2日(土)～11月28日(日) 54日間) 3,641人(1日平均67.4人)							
(3)「新宿風景 PART2戦後編」(12月4日(土)～平成23年1月30日(日) 48日間) 2,700人(1日平均56.3人)							
2 所蔵資料展関連講座							
(1)5月15日参加者31人/5月22日参加者41人 (講演会2回)							
(2)10月16日参加者30人/10月23日参加者20人 (ギャラリートーク2回)							
(3)12月18日参加者35人/1月22日参加者52人 (講演会2回)							
3 本年度は、歴史博物館の全館大規模修繕による休館(12月1日～平成23年1月31日)等により開催本数が少なく、例年通りの比較は出来ないが、目標達成率は99.9%という高い数値となった。臨時休館中に開催した「新宿風景PART2」は、新宿文化センター地下1階を展示室として使用した。							
4 関連講座は、参加者が振るわなかったが、内容を再検討し、増員を目指す。							
5 上期の反省から、下期はPRの時期を早めたりと工夫を行った。合同チラシは、効果的であった。							
【今後の課題】							
写真展は毎回好評であるが、戦前の写真が少ないという問題がある。その解決策として、地域博物館事業を活用した写真講座や写真展などを開催し、地域住民の貴重な写真資料を新たに発掘・寄贈等してもらうよう積極的に働きかける。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費	376,000			376,000	359,302	16,698	95.6%
印刷製本費	368,000			368,000	300,818	67,182	81.7%
臨時雇用賃金	292,000			292,000	0	292,000	0.0%
使用料及び賃借料	126,000			126,000	24,140	101,860	19.2%
委託費	200,000			200,000	0	200,000	0.0%
通信運搬費	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
人件費	4,582,000			4,582,000	4,282,620	299,380	93.5%
事業費合計(円)	5,954,000			5,954,000	4,966,880	987,120	83.4%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	11.7%	4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1 本年度は臨時休館などにより、開催本数は少なかったが、目標達成率99.9パーセントであった。休館中、新宿文化センター展示室を会場に展示会を開催することで、新たな展示観覧者を得ることが出来た。</p> <p>2 写真展は毎回好評であるが、戦前の写真が少ないという問題があるため、公募型の写真展などを開催し、区民のお宝写真を寄贈等してもらうようなことも必要かと考える。</p>
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(1)-		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催 協働企画展		開催日時	下記参照				
		参加料設定	一般300円(団体20人以上で150円)、中学生以下無料				
内容	新宿の歴史文化の理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館				
関係団体	[共催]新宿区、新宿区教育委員会 [協働企画]中村屋	部屋名	企画展示室				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
		博物館HP、都内関連施設および全国美術館・博物館、新聞各社				団体	
申込み	方法	期間			応募者数	人	
						団体	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)			5,919,000	3,891,402	2,027,598	65.7%
(2)	人件費(円)			3,395,000	3,173,279	221,721	93.5%
(3)	総事業費 (1)+(2)			9,314,000	7,064,681	2,249,319	75.9%
(4)	事業収益(円)			2,250,000	1,846,000	404,000	82.0%
(5)	財源充当額 (3)-(4)			7,064,000	5,218,681	1,845,319	73.9%
(6)	延べ参加者数			4,000	2,576	1,424	64.4%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)			1,766	2,026	260	114.7%
【目的】多様な機関との連携構築による展示会を実施する。							
【目標・成果指標】1 地域の歴史や文化について再認識できる機会とする。2 運営をはじめ、経費の負担についても、協働連携をはかり、効率的で良質な展示会を開催する。3 5,000名の観覧者(今年度4,000名)、50,000円の収入。							
【課題】1 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した区内外への積極的PRの実施。2 より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を広く求める。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:64.4%(2,576人/4,000人) 前年度比:43.8%(一日平均 63人/144人)							
< 内訳・内容 >							
1 会期 平成23年2月19日(土)～4月10日(日):47日間。但し、22年度(～3月31日)は36日間。 3月12日(土)は東日本大震災に伴い臨時休館。							
2 観覧者:2,323人(有料観覧者1,372人、1日平均観覧者63人、観覧料収入411,450円)。内覧会、関連事業(記念講演会2回・サロンコンサート)を含む参加者総数2,576人。							
3 集客施策							
(1)記念講演会 蔵屋美香(東京国立近代美術館美術課長)「大正期の美術と中村屋サロン」2月20日(日):98人(応募者数102人) 吉岡修一(中村屋CSR推進室長)「中村屋に集った人々」3月13日(日):105人(応募者数216人)							
(2)夜間開館(20時まで):3日間(東日本大震災後節電のため、3月16日以降の夜間開館を中止)							
(3)バラライカ・サロンコンサート(3月5日):50人							
(4)イベント「中村屋サロンへようこそ～エロシエンコ童話の世界を描く～」:参加者14人(応募者24人)							
(5)展示替え1回。国指定重要文化財1点借用。							
4 エントランス(れきはくギャラリー)...中村屋の歴史と菓史の写真パネル展示							
5 内覧会(2月18日):77人							
6 展示会図録の刊行:全121頁、頒布価格1,000円、売上346冊。							
7 他に文化資源情報の集積・発信事業(自主事業)を実施。							
(1)中村屋シェフによるカレー料理教室 2月19日、3月9日・19日、の3回(3月26日予定分は東日本大地震による会場使用中止により開催中止) 延べ参加者数:77人(応募者数180人)							
【今後の課題】							
1 区内企業や団体などの歴史や所蔵資料を調査し、協働企画者を精査するとともに、企画立案を行う。							
2 今回、協働企画者の(株)中村屋からは、CSR推進室を中心に全面的な協力を仰ぐことができた。次回以降も協働企画者との連携を図り、展示・イベントなどを工夫し、効率的に運用する必要がある。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
臨時雇用賃金	86,000			86,000	0	86,000	0.0%
旅費交通費	188,000			188,000	53,830	134,170	28.6%
通信運搬費	57,000			57,000	26,141	30,859	45.9%
消耗品費	105,000			105,000	84,848	20,152	80.8%
印刷製本費	2,362,000			2,362,000	1,440,140	921,860	61.0%
使用料及び賃借料	100,000			100,000	0	100,000	0.0%
諸謝金	268,000			268,000	145,000	123,000	54.1%
委託費	2,253,000			2,253,000	1,884,228	368,772	83.6%
保険料	500,000			500,000	257,215	242,785	51.4%
人件費	3,395,000			3,395,000	3,173,279	221,721	93.5%
事業費合計(円)	9,314,000			9,314,000	7,064,681	2,249,319	75.9%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
事業収入(図録)	750,000			750,000	346,000	404,000	46.1%
事業収入(協賛金)	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0	100.0%
合計(円)	2,250,000	0	0	2,250,000	1,846,000	404,000	82.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
		5

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 博物館と榊中村屋の両方から広報活動を行ったが、3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、来館者数は目標に達しなかった。 2 初の企業との協働企画展であったが、協定の締結や企画等、問題が起きることなく進めることができた。 協働企画ならではのイベント(料理教室など)を企画し、参加者の好評を得た。
---------------	---	--

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(2)		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (2)ミニ博物館の充実		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1区内7箇所ある新宿区ミニ博物館の活動を区内外に周知するとともに、パンフレット増刷、看板補修、及び事業連携等を行い支援する。2つまみかんざしや染色等、区内伝統工芸のミニ博物館製品をミュージアムショップで販売協力する。						
事業区分	1主催事業	対象者	どなたでも				
	2補助事業	会場	各ミニ博物館				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	人		
		パンフレット			団体		
申込み	方法	期間		応募者数	人		
					団体		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,177,000	467,457	1,317,000	823,881	493,119	62.6%
(2)	人件費(円)	-	178,850	192,000	170,501	21,499	88.8%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,177,000	646,307	1,509,000	994,382	514,618	65.9%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,177,000	646,307	1,509,000	994,382	514,618	65.9%
(6)	延べ参加者数	20,000	18,676	20,000	18,458	1,542	92.3%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	59	35	75	54	22	71.4%
【目的】							
1 歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内の文化資源・産業の実態を展示公開しているミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。							
2 民間の歴史・文化資源の保護・育成を図るとともに、区民が親しめる拠点として充実させる。							
【目標・成果指標】							
1 地場産業講座やまち歩きでミニ博物館との事業連携を図る。							
2 博物館ミュージアムショップのレイアウト変更により、ミニ博物館関係商品の販売力を強化する。							
【課題】							
1 ミニ博物館と講座やまち歩き等の事業との連携充実を図ることで、区内歴史文化資源の活用を図る。							
2 身近な文化資源として周知するとともに、観光資源としてもPRを促進する。							
3 今後のミニ博物館のあり方について区が方針を明確にする必要がある。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:92.3%(18,458人/20,000人)				前年度比:98.8%(18,458人/18,676人)			
< 内訳・内容 >							
1 パンフレットの印刷(実施館のみ)							
(1)東京染ものがたり博物館 10,000部 (2)つまみかんざし博物館 10,000部							
(3)十二社熊野神社の文化財 20,000部 (4)目白学園遺跡 10,000部							
(5)新宿ミニ博物館マップ 10,000部							
2 看板の修繕 「十二社熊野神社の文化財」のミニ博物館展示パネル6枚を修繕。							
3 連携講座 参加:77人							
(1)地場産業講座 「新宿の染色～二葉苑で染めるテーブルセンター～」開催(連携:染の里二葉苑)							
7月31日(土)10時～12時 参加者28人 7月31日(土)14時～16時 参加者19人 延べ参加者47人(定員各20人)							
は同内容、染めの里二葉苑にて開催。							
(2)地場産業講座 「つまみかんざし」開催(連携:つまみかんざし博物館)							
8月21日(土)14時～16時 参加者30人(定員40人)博物館2F講堂にて開催。							
4 ミュージアムショップ 当館にて染の里二葉苑、東京染ものがたり博物館、つまみかんざし博物館の商品を販売。							
【今後の課題】							
1 文化拠点ネットワークとの連携を深める。							
2 新たに立ち上げる落合地区の文化ネットワーク事業への参加を促す。							
3 ミニ博周知の強化。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	4,000			4,000	0	4,000	0.0%
消耗品費	63,000			63,000	13,734	49,266	21.8%
修繕費	158,000			158,000	139,230	18,770	88.1%
印刷製本費	1,092,000			1,092,000	670,917	421,083	61.4%
人件費	192,000			192,000	170,501	21,499	88.8%
事業費合計(円)	1,509,000			1,509,000	994,382	514,618	65.9%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 地場産業講座ではミニ博物館(二葉苑・つまみかんざし)と連携をはかることができた。・来館者が20,000人に達することができなかったため、今後ミニ博物館周知を強化していく。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(3)		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (3)れきはくシネマサロン		開催日時	下記参照				
		参加料設定	無料				
内容	1 新宿にゆかりのある映画、歴史・文化の理解につながる映画等の上映会を実施する。 2 所蔵資料展等の関連イベントとして、関係の深い作品を上映し、事業の魅力向上と充実を図る。 3 当館や新宿区所蔵の映像資料の有効活用を図り、積極的に公開していく。 4 アンケート等の結果を反映したテーマを設定し、利用者の満足度を高める。						
事業区分	1 主催事業	対象者	一般				
	1 自主事業	会場	新宿歴史博物館				
関係団体		部屋名	講堂				
		指導員・講師等	新宿歴史博物館職員				
周知	方法	備考		定員(延べ)	各回100人×3回 団体		
	広報紙(Oh!レガス) ホームページ	ポスター・チラシ、メンバーズ倶楽部通信 都政新聞6月24日号レッツエンジョイ東京・タウン誌JG		応募者数	人 団体		
申込み	方法	期間		参加者数	団体 35人		
	不要	5月17日～8月6日(82日間)					
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	99,000	43,160	60,000	1,880	58,120	3.1%
(2)	人件費(円)		35,770	38,000	34,100	3,900	89.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	99,000	78,930	98,000	35,980	62,020	36.7%
(4)	事業収益(円)	80,000	16,400	24,000	0	24,000	
(5)	財源充当額(3)-(4)	19,000	62,530	74,000	35,980	38,020	48.6%
(6)	延べ参加者数	380	180	300	35	265	11.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	50	347	247	1,028	781	416.8%
【目的】							
1 博物館や新宿区立図書館等の所蔵する映像資料を公開していき有効活用を図る。2 新宿にゆかりのある映画作品や歴史・文化の理解につながる映画作品を上映することにより、博物館に対する理解や来館へのきっかけにする。3 上映会を開催することで特別展や所蔵資料展等のPRの効果を高め集客の増加を図る。							
【目標・成果指標】							
1 館蔵資料を活用するなど上映会としての独自性と希少性を確立することで、参加者の高いモチベーションを維持させ安定した参加者を確保していく。2 特別展や所蔵資料展などの展示会に連動した作品、またはトレンドや話題性を考慮した作品を選ぶことにより、利用者の満足度を高める。各年度4回開催、各回80人以上、延べ320人の参加者を目標としていく。							
【課題】							
博物館や新宿区立図書館等が所蔵する映像資料は既に利用したものが多くなり、今後利用できる資料が限られている状況である。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:11.7%(35人/300人) 前年度比:22.0%(35人/154人) < 内訳・内容 > 1 7月3日(土)10時～12時10分 親子向け映画会として新宿にゆかりのある子ども向けの映画をファミリー対象に無料で上映。参加者15人 (1)『手塚治虫物語～ぼくは孫悟空』(2)『ジャングル大帝 - 誕生 -』(3)『リボンの騎士 - 王子と天使 -』 2 夏休み納涼映画会として2部構成で実施。各回無料で上映する。 (1)8月6日(金)第1部14時～15時30分 参加者9人 第2部17時～20時 参加者11人 第1部『火垂るの墓』(カラー88分)。平和展にちなんで終戦間近の神戸を舞台に幼い兄弟が必死に生き抜こうとする姿を描いた映画を上映。 2部は、子ども達を対象とした怪談アニメ映画と太平洋戦争史を題材とした長編記録映画を上映。 第2部-1『日本のおばけ話 きもだめしのぼんに』(カラー15分)、-2『おばけ長屋 落語アニメ』(カラー20分)、-3『怪談 - 若一ものがたり -』(カラー25分) -4『世紀の爪跡 - 太平洋戦争中 -』(長編記録映画・白黒92分)							
【今後の課題】							
1 博物館所蔵フィルムの再点検を実施し、所蔵フィルム等に特化した公開として開催するなど館蔵資料の活用を図る。 2 他の事業を活用してPR活動を実施する。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	5,000			5,000	1,880	3,120	37.6%
消耗品費	2,000			2,000	0	2,000	0.0%
使用料・賃借料	53,000			53,000	0	53,000	0.0%
人件費	38,000			38,000	34,100	3,900	89.7%
事業費合計(円)	98,000			98,000	35,980	62,020	36.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
	24,000			24,000	0		
合計(円)	24,000			24,000	0		

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
12.0%	45.9%	4.1

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	1	<p>1 新宿に関する映画と話題性や社会性、来館者のニーズに適う作品の上映や映画会社などと連携した上映会など新たな試みも含めて、今後検討する必要がある。</p> <p>2 平和展にちなみ戦争に関連した映画と子ども向けの怪談映画を納涼映画会として上映した。</p> <p>3 家庭で鑑賞できる作品よりは、ドキュメンタリー映像や地域性のある映像や展示会に関連した映画を上映したり、新たな企画で東映との連携や新たな作品の発掘に力を入れる必要がある。</p> <p>4 PR活動を早い段階から行う。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-7-(4)		
新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (4)各種講座-講座・講演会 総括		開催日数	4月4日～平成23年1月24日				
		参加料設定	500円～3,000円				
内容	1 魅力ある企画の実施により、歴史・文化等の普及・啓発を図り、親しまれる博物館づくりを推進する。 2 受講者へのアンケート結果を反映し、内容や受講方法等を改善する。						
事業区分	1主催事業	対象者	一般				
	1自主事業	会場	新宿歴史博物館・染の里二葉苑・榎特別出張所				
関係団体	新宿ミニ博物館(つまみかんざし博物館・染の里二葉苑)他	部屋名	戸塚特別出張所・新宿コスミックセンター他				
		指導員・講師等	五十嵐卓(東郷青児美術館)・中川武(早稲田大学教授) 佐々木昌孝(ものづくり大学講師)・大野瑞男(東洋大教授) 他				
周知	方法	備考		定員(延べ)	2,470人		
	広報紙(Oh!レガス) ホームページ	他に、メンバーズ倶楽部通信・区報「しんじゅく」		応募者数	864人 団体		
申込み	方法	期間		参加者数	870人		
	往復はがき HP・Eメール	募集期間は平均20日程度			延べ2,251人 (同伴者含む)		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,302,000	1,055,866	1,246,000	857,695	388,305	68.8%
(2)	人件費(円)	-	178,850	77,000	68,200	8,800	88.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,302,000	1,234,716	1,323,000	925,895	397,105	70.0%
(4)	事業収益(円)	1,470,000	1,766,000	1,297,000	1,232,200	64,800	95.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	168,000	531,284	26,000	306,305	332,305	1154.3%
(6)	延べ参加者数	3,370	3,631	2,400	2,251	149	93.8%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	50	146	11	136	147	1266.6%
【目的】							
1 歴史や文化財に興味を持ち、学びの楽しさを体験することで、親しみやすく身近な博物館へつなげる。 2 機会と場の提供を行い、歴史や文化に対し学びきっかけづくりを行っていく。							
【目標・成果指標】							
1 魅力ある講座・講演会を実施することで、歴史・文化等の普及・啓発を図ると共に、親しまれる博物館づくりを推進する。 2 特別展・所蔵資料展と関連した内容の講座を開催し、講座への関心と展示会の観覧者増を図る。							
【課題】							
1 受講者の多様なニーズに応えられるよう、土、日曜日以外の平日(月曜日を含む)や夜間に講座を提供し選択肢を広げる。 2 博物館ボランティアが企画段階から参集するための体制等の整備を進める。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 93.8%(2,251人/2,400人) 前年度比: 60.4%(2,251人 / 3,724人)							
< 内訳・内容 >							
1 9講座14コース開講(別紙参照)。 2 22年度は、佐伯祐三アトリエ記念館の開館に併せ、「美術史講座」を新規事業として実施し、好評だった。 3 これまで人気の高かった「古文書講座(初級・中級)」「歴史講座」は出来る限り親しみやすいテーマにし、展示会との連動を考慮し、企画した。 4 21年度から開催し好評だった「学芸員と学ぶ新宿の歴史・文化講座」は、午後の部のほかに夜間の部を開講した。 5 地域出張講座は、臨時休館期間を活用して各地域での要望を基本として開講したが、準備・PR不足により当初計画を達成できなかった。但し、これを契機に各地域との連携が深まり、「写真展」等の展示会を希望する地域が増えていく。23年度から「地域博物館」事業として積極的に展開できる環境づくりができた。 詳細は別紙資料のとおり。							
【今後の課題】							
事業の実施計画に際しては、アンケート調査を分析し、特別展・所蔵資料展等と連動した講座・講演会を企画していく。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	9,000			9,000	2,420	6,580	26.9%
消耗品費	433,000			433,000	256,075	176,925	59.1%
使用料及び賃借料	60,000			60,000	8,200	51,800	13.7%
諸謝金	744,000			744,000	591,000	153,000	79.4%
人件費	77,000			77,000	68,200	8,800	88.6%
事業費合計(円)	1,323,000	0	0	1,323,000	925,895	397,105	70.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	1,297,000			1,297,000	1,232,200	64,800	95.0%
合計(円)	1,297,000			1,297,000	1,232,200	64,800	95.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
80.30%	80.50%	4

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 受講生の満足度は高い。 2 集客を図るため、PR時期や方法などを再検討し、十分に配慮する。
---------------	---	--

講座講演会実績表

	定員	(延定員)	応募者	当選者	受講者	延人数
1. 美術史講座 (全5回)						
「西洋美術の流れと日本文化への影響」 4/4(日)当館学芸員 「明治・大正・昭和初期の日本洋画史」 4/11(日)五十嵐卓(損保ジャパン東郷青児美術館学芸課長) 「新宿ゆかりの画家『佐伯祐三』」 4/18(日)当館学芸員 「新宿ゆかりの画家たち」 4/25(日)五十嵐卓(損保ジャパン東郷青児美術館学芸課長)	60	(300)	90	90	85	360
小計	60	(300)	90	90	85	360
2. 古文書講座						
初級 全5回 5/8~6/5(毎週土曜) 「くずし字になれよう 江戸の物見遊山『滑稽富士詣』を読む」 龍澤潤(東洋大学講師)	60	(300)	62	62	62	259
中級 全5回 8/28~9/25(毎週土曜) 「『酒井家文書』を読む」久保貴子(昭和女子大学講師)	60	(300)	70	70	62	260
小計	120	(600)	132	132	124	519
3. 所蔵資料展関連講座						
「牛込神楽坂の文士たち」関連						
ア.「神楽坂をめぐる作家たち」 5/15(土)井上明久(作家)	60	(60)	45	45	31	31
イ.「神楽坂ホン書き旅館の半世紀」 5/22(土)黒川鍾信(作家)	60	(60)	50	50	41	41
写真展「新宿風景 PART1-戦前-						
ア.ギャラリートーク 10/16(土)当館学芸員	30	(30)	-	-	30	30
イ.ギャラリートーク 10/23(土)当館学芸員	30	(30)	-	-	20	20
写真展「新宿風景 PART2-戦後-						
ア.「新宿戦後のあゆみ」 12/18(土)高橋和雄(早稲田大学エクステンションセンター講師)	60	(60)	48	48	35	35
イ.「新宿駅の開業・変遷と新宿」 1/22(土)奥原哲志(鉄道博物館学芸課長)	60	(60)	61	61	52	52
小計	300	(300)	204	204	209	209
4. 学芸員と学ぶ新宿の歴史 講座						
月曜日午後コース 全6回 5/17~11/15の第三月曜日午後(8月を除く)担当学芸員	30	(180)	73	73	73	318
金曜日夜コース 全6回 5/21~11/19の第四金曜日夜間(8月を除く)担当学芸員	30	(180)	24	24	24	102
小計	60	(360)	97	97	97	420
5. 歴史講座「寛政 徳川家光の老中たち」全5回						
「江戸幕府と老中たち」 6/2(土)大野瑞男(東洋大学名誉教授) 「江戸幕府『大老』の成立」 6/19(土)小池進(東洋大学講師) 「小姓から老中になった阿部忠秋」 6/26(土)松尾美恵子(学習院女子大学教授) 「佐倉藩主 堀田正盛」 7/3(土)根岸茂夫(國學院大学教授) 「智恵伊豆」松平信綱」 7/10(土)杉山正司(國學院大学講師)	60	(300)	98	98	91	356
小計	60	(300)	98	98	91	356
6. 地場産業講座						
「新宿の染色~二葉苑で染めるテーブルセンター~」 7/31(土) 午前・午後 会場:新宿ミニ博物館 講師:染の里 二葉苑	40	(40)	32	30	30	48
「つまみかんざし」 8/22(土) 会場:新宿ミニ博物館 講師:つまみかんざし博物館	30	(30)	43	30	30	42
小計	70	(70)	75	60	60	90
7. 考古学講演会 (全2回)						
「縄文から弥生へ~実年代の変化を踏まえて~」 7/4(土) 藤尾慎一郎(国立歴史民俗博物館教授)	60	(60)	50	50	42	42
「AMS炭素14年代測定法と弥生時代の年代研究」 9/19(日) 今村幸雄(元国立歴史民俗博物館教授)	60	(60)	80	80	57	57
小計	120	(120)	130	130	99	99
8. 地域出張講座						
戸塚地区						
ア. 講座「神田川と戸塚」 1/24(月)当館学芸員	30	(30)	18	18	18	18
イ. さわれる展示「さわってドキ?!」 1/24(月)当館学芸員	-	-	-	-	18	18
榎地区						
ア. 講座「榎の今と昔」 12/8(水)当館学芸員	30	(30)	13	13	13	13
イ. 「江戸の歴史を感じるまちあるき」 12/12(日)当館学芸員 榎地区協議会との連携事業	30	(30)	23	23	23	23
小計	90	(90)	54	54	72	72
9. たてもものウォッチング講座 (全5回)						
「建築の起源と歴史(現代建築まで)」 10/2(土)中川 武(早稲田大学教授) 「早稲田大学キャンパスツアー」 10/9(土)当館学芸員 「洋風建築と現代建築の見方」 10/16(土)佐々木 昌孝(ものつくり大学講師) 「新宿御苑内探訪」 10/23(土)当館学芸員 「寺社建築と民家建築の見方」 10/31(日)山岸吉弘(早稲田大学助手)	60	(300)	38	38	33	126
小計	60	(300)	38	38	33	126
総計	940	(2440)	918	903	870	2251

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-11		
博物館ボランティア 総括		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 22年度より博物館友の会より独立し、博物館ボランティアと養成講座による単独事業とする。2 博物館事業へのボランティアの参画機会の拡大を図る。3 佐伯祐三アトリエ記念館部会を新設し運営を開始する。4 養成講座を実施しボランティアの増員を図る。						
事業区分	対象者	博物館ボランティア(130人)					
	会場	新宿歴史博物館、林芙美子記念館他					
関係団体	部屋名						
	指導員・講師等						
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
						団体	
申込み	方法	期間			応募者数	人	
						団体	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,910,000	1,146,868	2,763,000	1,471,922	1,291,078	53.3%
(2)	人件費(円)	-	4,292,917	4,415,000	4,121,653	293,347	93.4%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,910,000	5,439,785	7,178,000	5,593,575	1,584,425	77.9%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,910,000	5,439,785	7,178,000	5,593,575	1,584,425	77.9%
(6)	延べ活動回数	510	1,418	1,400	3,116	1,716	222.6%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	3,745	3,836	5,127	1,795	3,332	35.0%
【目的】博物館・林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。							
【目標・成果指標】1 新宿の歴史や文化に関心のある人に場と機会を提供し、協働と参画による事業を推進していく。2 ボランティアの自主的活動を促し、それを支援することで地域社会への還元を図る。3 実質登録者150人、活動回数1,400回 4 ボランティア登録者数 延べ230人(史跡60人、展示60人、記念館40人、事業30人、アトリエ40人)、実質150人。							
【課題】1 ボランティア全体のガイド技術等の向上。2 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の拡大を図る。3 自主的活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づけるための基盤整備を図る。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 活動数222.1%(3,116回/1,400回) 前年度比: 259.8%(3,116回/1,197回) 登録数 86.6%(130人/150人) 101.5%(130人/128人)							
< 内訳・内容 >							
1 ボランティア活動: 延べ593日 延べ1,782人 林芙美子記念館ガイド(38人)、史跡ガイド(48人)、展示ガイド(56人)、事業サポート(37人)に加え、佐伯祐三アトリエ記念館ガイド部会を新設し、4月28日に開館した佐伯祐三アトリエ記念館において、新たに47人が登録して活動を開始した。							
2 研修・講座 全体会、レベルアップ講座、部会別研修会、新人研修会を開催し、述べ1,238人の参加を得て、情報の共有化とボランティアガイドのレベルアップを図った。また前年度21年度より22年度にかけて開催したボランティア養成講座では、延べ96人の参加を得た。							
3 活動 歴史文化探訪・落合ネットワーク事業等では、企画からボランティアの参加を促し活動の場を広げるよう図った。							
4 その他 ボランティア全員にスタッフジャンパーを支給し、お客様にガイドの存在をわかりやすくし、ボランティアとしての一体感を図った。							
【今後の課題】							
1 ボランティアの人材育成、展示・歴史文化探訪など企画段階から参加できる体制づくり。 2 佐伯祐三アトリエ記念館が加わったことで、落合文化ネットワーク事業の充実と活動の場の提供を図る。 3 事業サポートボランティアの活動の場の拡大を図る。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	230,000			230,000	60,019	169,981	26.1%
消耗品費	2,168,000			2,168,000	1,252,153	915,847	57.8%
使用料及び賃借料	125,000			125,000	99,750	25,250	79.8%
諸謝金	240,000			240,000	60,000	180,000	25.0%
人件費	4,415,000			4,415,000	4,121,653	293,347	93.4%
事業費合計(円)	7,178,000			7,178,000	5,593,575	1,584,425	77.9%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 史跡ガイド:「歴史文化探訪」では、コース設定などボランティアが主体的な活動をおこなった。 2 展示ガイド:所蔵資料展・特別展のガイドのほか、小学校の社会科見学のガイド活動をおこなった。 3 林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館ガイドは、記念館のガイドのほか、落合文化ネットワーク事業などにも積極的に活動してもらった。 4 事業サポートでは、博物館事業の他、事務作業や図書の整理等にも活動の場を増やしている。
---------------	---	--

22年度 博物館ボランティア活動状況

1. ボランティア登録人数

登録者数	部会数	人数	内 訳
130	5	226	男:102 女:124

2. ガイド活動 (延べ593日 延べ1782名)

史跡ガイド 48人 (男35人 女13人)	歴史・文化探訪	第1回	古地図でめぐる寺町・四谷	29
		第2回	中野の寺町	29
		第3回	江戸切り絵図で歩く市谷	27
		第4回	江戸切絵図で歩く牛込	27
		第5回	近代建造物を訪ねて	21
		第6回	幕末を知ろう	25
		第7回	江戸名所で歩く高田馬場	18
		第8回	郊外の地落合を訪ねて	18
		第9回	昭和の新宿を訪ねて	13
		第10回	江戸名所図会で歩く大久保	19
		第11回	江戸名所図会で歩く柏木・角筈	中止
		第12回	桜の神田川と大名屋敷	14
	江戸城外堀史跡めぐり			16
	林氏墓地公開関連史跡めぐり・現地調査・ガイド			21
その他			24	
落合散歩・七福神めぐり等			24	
合計(20日)			301	
展示ガイド 56人 (男31人 女25人)	展示ガイド	特別展	佐伯祐三展 (37日)	132
			酒井忠勝と小浜藩矢来屋敷 (63日)	216
		所蔵資料展	牛込神楽坂の文士たち(21日)	45
			新宿風景 (21日)	74
		協働企画展	新宿中村屋に咲いた文化芸術(37日)	111
		常設展	(特別展・所蔵資料展会期除く) 15日	20
		社会科見学	10校	18
団体ガイド			36	
合計(214日)			652	
林芙美子記念館 38人 (男7人 女31人)	記念館ガイド		192日	434
	落合ネットワーク事業	第1回	佐伯祐三アトリエ記念館と落合散策	-
		第2回	落合文士村を訪ねて	6
		第3回	西落合の史跡を訪ねて	5
	記念館内部特別公開		6月25日・26日	17
			3月22日	6
	庭園鑑賞会	第1回	12月6日(月)	2
		第2回	3月28日(月)	3
	アトリエ展示替え		4回(4/8, 7/7, 9/30, 2/2)	11
	レガスマツリ			2
土曜朗読会			26	
合計(199日)			512	
佐伯祐三アトリエ記念館 47人 (男15人 女32人)	記念館ガイド		104日間	208
	落合ネットワーク事業	第1回	佐伯祐三アトリエ記念館と落合散策	-
		第2回	落合文士村を訪ねて	2
		第3回	西落合の史跡を訪ねて	2
合計(104日)			212	
事業サポート 37人 (男14人 女23人)	レガスマツリ		6	
	佐伯祐三アトリエ記念館会館対応		7	
	レガス子どもクラブ		6/20,7/30,9/12,10/17,11/21,2/13	13
	夏休み子ども講座		勾玉作り・施設見学会・四谷文化ネット	19
	事務作業		発送、閲覧室等	46
	事業サポート		Mツア-、お茶会、伝統芸能フェス等	14
合計(56日)			105	

3. 全体会・研修会活動

全体会	第1回/第2回	4月24日・8月29日	161
レベルアップ研修会	第1回/第2回	4月24日・8月29日	161
	第3回	ハス研修 行田	37
	展示	所蔵資料展研修会(2回)	68
部会別研修会		特別展座学(10/25)・協働企画展座学(2/12)	83
	記念館	研修会(7/4, 8/8, 9/19, 3/6, 新規研修、)	106
	アトリエ記念館	研修7回	172
	史跡	研修会(座学、実踏 計15回)	450
ボランティア養成講座	2/12~3/26(7回)		96
合計			1,334

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-11-(1)		
博物館ボランティア (1)ボランティアの活動		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	1 22年度より博物館友の会より独立し、博物館ボランティアと養成講座による単独事業とする。2 博物館事業へのボランティアの参画機会の拡大を図る。3 佐伯祐三アトリエ記念館部会を新設し運営を開始する。4 養成講座を実施しボランティアの増員を図る。						
事業区分	対象者	博物館ボランティア(130人)					
	会場	新宿歴史博物館、林芙美子記念館他					
関係団体	部屋名						
	指導員・講師等						
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
					応募者数	人	
申込み	方法	期間			活動回数	人	
					延べ	1,782回	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			1号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,251,000	1,001,552	2,647,000	1,453,922	1,193,078	54.9%
(2)	人件費(円)	-	3,949,484	3,999,000	3,736,135	262,865	93.4%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,251,000	4,951,036	6,646,000	5,190,057	1,455,943	78.1%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,251,000	4,951,036	6,646,000	5,190,057	1,455,943	78.1%
(6)	延べ活動回数	300	1,197	1,400	1,776	376	126.9%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	4,170	4,136	4,747	2,922	1,825	61.6%
<p>【目的】博物館・林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。</p> <p>【目標・成果指標】1 新宿の歴史や文化に関心のある人に場と機会を提供し、協働と参画による事業を推進していく。2 ボランティアの自主的活動を促し、それを支援することで地域社会への還元を図る。3 実質登録者150人、活動回数1,400回 4 ボランティア登録者数 延べ230人(史跡60人、展示60人、記念館40人、事業30人、アトリエ40人)、実質150人。</p> <p>【課題】1 ボランティア全体のガイド技術等の向上。2 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の拡大を図る。3 自主的活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づけるための基盤整備を図る。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:登録者:86.6%(130人/150人) 前年度比:101.5%(130人/128人) 活動回数 126.9%(1,776回/1,400回) 148.4%(1,776回/1,197回)</p> <p>< 内訳・内容 > 1 ボランティア活動:延べ593日 延べ1,776人 (1)林芙美子記念館ガイド(38人)活動日数199日延べ506人 (2)史跡ガイド(48人)活動日数20日延べ301人 (3)展示ガイド(56人)活動日数214日延べ652人 (4)佐伯アトリエガイド(47人)活動日数104日延べ212人 (5)事業サポート(37人)活動日数56日延べ105人 2 研修・講座 (1)全体会:2回延べ161人 (2)レベルアップ講座 レベルアップ講座:計2回延べ161人(1回目4/25 82人、2回目8/29 79人) ハス研修37人(11/10 行田方面) (3)部会別研修会 計33回延べ791人(記念館・佐伯アトリエ合同14回延べ278人、史跡15回:延べ450人、展示4回延べ132人 研修 4回延べ124人) (4)新人研修 9回延べ88人(記念館 3回延べ21人、佐伯アトリエ 3回延べ48人、展示ガイド 3回延べ19人) 3 活動 歴史文化探訪・落合ネットワーク事業等では、企画からボランティアの参加を促し活動の場を広げるよう図った。 4 その他 ボランティア全員にスタッフジャンパーを支給し、お客様にガイドの存在をわかりやすくし、ボランティアとしての一体感を図った。</p> <p>【今後の課題】 1 ボランティアの人材育成、展示・歴史文化探訪など企画段階から参加できる体制づくり。 2 佐伯祐三アトリエ記念館が加わったことで、落合文化ネットワーク事業の充実と活動の場の提供を図る。 3 事業サポートボランティアの活動の場の拡大を図る。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	216,000			216,000	60,019	155,981	27.8%
消耗品費	2,138,000			2,138,000	1,252,153	885,847	58.6%
使用料及び賃借料	125,000			125,000	99,750	25,250	79.8%
諸謝金	168,000			168,000	42,000	126,000	25.0%
人件費	3,999,000			3,999,000	3,736,135	262,865	93.4%
事業費合計(円)	6,646,000			6,646,000	5,190,057	1,455,943	78.1%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 史跡ガイド:「歴史文化探訪」では、コース設定などボランティアが主体的な活動をおこなった。 2 展示ガイド:所蔵資料展・特別展のガイドのほか、小学校の社会科見学のガイド活動をおこなった。 3 林芙美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館ガイドは、記念館のガイドのほか、落合文化ネットワーク事業などにも積極的に活動してもらった。 4 事業サポートでは、博物館事業の他、事務作業や図書の整理等にも活動の場を増やしている。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第1号	事業番号	1-11-(2)		
博物館ボランティア (2)ボランティアの養成			平成23年2月12日(土)～3月26日14時～16時				
		参加料設定					
内容	1 博物館友の会から独立したことに伴い、当養成講座も単独事業とする。2 落合地区の画家を中心とした芸術家に関する整備状況を踏まえ、芸術家関連のボランティア養成を図る。						
事業区分	対象者						
	会場	新宿歴史博物館、林芙美子記念館他					
関係団体	部屋名						
	指導員・講師等	岩田理加子氏、博物館学芸員					
周知	方法 広報紙 ホームページ	備考 ohレガス1月号		定員(延べ)	30人 団体		
				応募者数	19人 団体		
申込み	方法 往復はがき HP・E-mail 電話・FAX	期間 平成23年1月5日～2月1日		参加者数	96人 団体		
				延べ	96人		
歳出科目	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		1号事業費支出			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	76,000	42,000	116,000	18,000	98,000	15.5%
(2)	人件費(円)	-	157,249	416,000	385,518	30,482	92.7%
(3)	総事業費(1)+(2)	76,000	199,249	532,000	403,518	128,482	75.8%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	76,000	199,249	532,000	403,518	128,482	75.8%
(6)	延べ参加者数	210	221	30	18	12	60.0%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	362	902	17,733	22,418	4,684	126.4%
<p>【目的】1 団塊の世代等、歴史や文学・美術等に関心がある方にボランティアとして参画できる機会を提供する。2 博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。</p> <p>【目標・成果指標】1 新宿の歴史や文化に関心のある人にも場と機会を提供し、協働と参画による事業を推進していく。2 自主勉強会等に発展したボランティア独自の活動を支援し、博物館の新たな人的資源として育成・地域社会への還元を行う。3 ボランティア登録者数 延べ230人(史跡60人、展示60人、記念館40人、事業30人、アトリエ40名)、実質150人。</p> <p>【課題】1 多様なボランティア活動に対する養成プログラムの充実。</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率:60.0%(18人/30人) < 内訳・内容 > 1 内容 林芙美子記念館及び佐伯祐三アトリエ記念館ガイドボランティアの養成を目的とし、ボランティアとして必要な知識と技術を習得するための7回連続講座を実施。平成23年2月12日～3月26日までの毎週土曜日の連続講座であったが、3月12日が東日本大震災による休館日に重なったため休講とし、4月9日に補講を実施した。 2 登録 講座終了後、7回の講座のうち6回以上出席した受講生を対象に登録を受付、13人が博物館ボランティアとして登録をした。</p> <p>【今後の課題】 1 美術・芸術家関連ガイドの養成を通じて、落合文化ネットワーク事業の充実を目指す。 2 ボランティアの知識と技術の向上のための支援と、活動の場の提供を図る。</p>							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬費	14,000			14,000	0	14,000	0.0%
消耗品費	30,000			30,000	0	30,000	0.0%
諸謝金	72,000			72,000	18,000	54,000	25.0%
人件費	416,000			416,000	385,518	30,482	92.7%
事業費合計(円)	532,000			532,000	403,518	128,482	75.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
45.7%	63.2%	4.83

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	2	応募者は定員に達していないが、講座に積極的に臨み、13人が博物館ボランティアとして登録を済ませた。林英美子記念館・佐伯祐三アトリエ記念館のガイドとして、落合文化資源の発信に期待ができる。
---------------	---	---